

重複オモロの実相

はてるま えい きち
波照間 永 吉

『おもろさうし』が沖縄の古典を代表するものであることは論をまたない。この文献は全22巻よりなり、そのなかに1554首のオモロを収録している。(仲原善忠・外間守善編『校本おもろさうし』解説 1965年 角川書店)。しかし、この1554首のオモロのそれぞれが、唯一無二のものかというところではない。通説では約300首が重複しており、その実数は1248首と言われている。(仲原・外間『同前書』解説他)。

その「重複オモロ」に関する考察には、島村幸一「『重複オモロ——諸本が指示する『重複オモロ』を中心に——」(『沖縄文化』61号 1983年)があるが、それは「諸本の指示する重複」の変遷に焦点をおいたものであり、「重複」の実態およびその整理と『おもろさうし』における「重複オモロ」とは何かという問題については、課題を残したままであった。

本稿は、そのような現状に鑑み、いわゆる「重複オモロ」の実態がどのようになっているかを個々の「重複」ごとに明らかにすることを第一の目的としている。それによって、従来の「重複オモロ」というものがさまざまなレベルの重なりとズレを内包するものであることを把握することができることだろう。そして、その作業の結果として、「重複オモロ」という語の示すものを、新に整理的に示すことができることだろう。つまりこの作業は、「重複オモロ」論のための基礎的な作業としてなされるものである。(その結果としての「重複オモロ」に関する考察は稿を改めて論ずるつもりである。)

これまでこの種の作業は若干の「重複オモロ」については行われている。筆者も「巻11オモロの重複関係ノート」と題して特に巻11と巻21のオモロとの異同関係を洗い出したことがある。しかし、その作業は『おもろさうし』再編時に引き起こされたと目される巻11と巻21の関係に焦点をすえたものであり、「重複オモロ」のもたらす現存『おもろさうし』の成立に関わる問題(あるいは更に憶測の羽を伸ばすとすれば、1531年~1623年に成立した『おもろさうし』の成立にも関わるかもしれない)などについて考察するための資料としては、不十分なものであった。今回の作業によって、この方面についてもある

程度の資料が提供されることと思う。『おもろさうし』の書誌的研究のための基礎作業として着手した所以である。なお、今回の作業は以下の凡例に拠って行った。

凡 例

1. 本稿は「重複オモロ」間の諸異同を明らかにし、「重複」のレベルを整理・把握することを目的としている。
2. 調査の対象としたのは、外間守善・西郷信綱『おもろさうし』（第7刷 1983年岩波書店刊）に「互いに重複しているおもろについては、各々のおもろの末尾に重複おもろの番号を付し、参照の便宜をはかった」として示された「重複オモロ」の全部である。
3. 「重複オモロ」間の異同は、①表記、②詞句・詞章、節数、記載法、③節名の項目立てに従って調査した。
4. 「表記」の項は、詞句の表記・文字つかいの面での異同を、「詞句・詞章・その他」の項は、詞句・詞章、節数、記載法の面での異同を、「節名」の項は、節名の面での異同をみるためのものである。「判定」の項は、これによって明らかにされた諸異同を総合して「重複」の関係を分類するものである。その分類は、完全重複、重複、類歌、参考歌、非重複の5つのレベルを設けて行った。
5. 上記の各項は次のように示すこととした。

〔例〕 卷1－4・卷3－122

<p>あおりやへかふし 一 きこゑ大きみきや てにの いのり しよわれは てるかはも ほこて おきやかもいに かさり うちちへ みおやせ 又 とよむせたかこか</p>	<p>あおりやへふし 一 きこゑ大きみか 天の いのり しよわれは てるかはも ほこて おきやかもいに しま そゑて みおやせ 又 とよむせたかこか</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

<表記の項>

1－4の1行目「きこゑ大きみきや」が122では「きこゑ大きみか」となっている。これを「4の1行目「きや」、122「か」と示した。

<詞句・詞章・その他の項>

1-4の5行目「かさり うちちへ」が122では「しま そゑて」と変わっている。これを「4の5行目「かさり うちちへ」, 122「しま そゑて」と示した。また, 4, 122ともに全2節のオモロであるから, これを「共に全2節のオモロ」と示した。

<節名の項>

1-4の節名は「あおりやへかふし」で, 122の節名は「あおりやへふし」である。これを「4「あおりやへかふし」, 122「あおりやへふし」と示した。

6. 上記の各項の異同を総合して, 「重複オモロ」とされるものが重複歌と認められるか, 否かについて「判定」の欄で試みに判断を示した。完全な重複には◎, 若干の異同のあるもの(準完全重複)には☆, 不完全ながらも「重複オモロ」の範疇に含まれると判断したものには○, 詞句・詞章に異同があり「重複オモロ」とは認められないが, 類歌・参考歌と判断されるものには△, 両者が「重複オモロ」と認められず, また, 類歌・参考歌の関係にもならないと判断されるものには×とした。(上記引用「重複オモロ」は詞句に異なりがあるから△となる)。
7. 上記の調査結果の整理は, 一組の「重複オモロ」のうち, 番号の若いオモロの項でのみ行い, 番号の大きいオモロの項では触れなかった。これについては本表の末尾に「3-95 1-38 38の項で既述」と示した。これは, 3-95と1-38の「重複」関係については, 1-38の項で既に述べてある, という意である。
8. テキストは比嘉実編『尚家本おもろさうし』(1994年 法政大学沖縄文化研究所刊)の本文を用い, 必要に応じて, 尚家本の複製本『おもろさうし』(1980年 ひるぎ社刊 「尚本」と略記), 仲原善忠・外間守善『校本おもろさうし』(1965年 角川書店刊), 同書所収の仲吉本『おもろさうし』(影印・「仲本」と略記)を参照した。なお, 行取りは外間守善・西郷信綱『おもろさうし』(第7刷 1983 岩波書店刊 「岩波本」と略記)に従った。

巻・番号	重複オモロ	表記の異同
1-1	3-119	1の3行目「てにかした」, 119「天か下」。
2	3-120	2の4行目「あんし」, 120「あち」。
3	3-121	異同なし。
4	3-122	4の1行目「きや」, 122「か」。2行目「てに」, 122「天」。
5	3-123	異同なし。
6	3-124	異同なし。
7	3-125	3行目「首里」, 125「しより」。
8	3-126	8の2行目「けよ」, 126「けお」。3行目「しま」, 126「嶋」。4行目「こゑ」, 126「こへ」。
9	3-127	9の3行目「よう そろいて」, 127「世 そろゑて」
10	3-128	異同なし。
11	3-129	異同なし。
12	3-130	12の3行目「たうやま」, 130「たう山」。
13	3-131	異同なし。
14	3-132	14の3行目「まんまん」, 132「萬々」。
15	3-133	異同なし。
16	3-134	16の2行目「首里」, 134「しより」。
17	3-135	異同なし。
18	3-136	18の6行目「ま玉もり」, 136「またまもり」。

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 1-19 3-137 19の2行目「けよ」, 137「けお」。
- 20 3-138 異同なし。
- 21 3-139 21の1行目「きこへ」, 139・863「きこゑ」。同じく1行目「大きみきや」, 863「大きみ
13-863 か」。3行目「てよりとみ」, 863「ておりとみ」。6行目「きやかる」, 863「きやくる」。
- 22 3-140 22と368は表記の異同なし。22の2行目「うらへと」, 140「浦うらと」。
7-368
- 23 3-106 23の2行目「いろのへに」, 106「いるのへに」。3行目「きみ」, 106「君」。7行目「き
やかる」, 106「きやへる」。
- 24 3-141 24の2行目「なふしよわ」, 141「なおしよわ」。3行目「あんしおそい」, 141「あちお
そい」。
- 25 3-142 異同なし。
- 26 3-143 26の2行目「おろちへ」, 143「おるちへ」。3行目「あんしおそいしよ」, 143「あちお
そいす」。
- 27 3-144 27の2行目「あまゑわちへからは」, 144「あまへわちへからわ」。
- 28 3-145 28の3行目「しまゆ そろへわちへ」, 145「しま世 そろいわちへ」。
- 29 3-147 29の2節までと1531は全同。29の3行目「とよむ」, 147「とよも」。
22-1531
- 30 3-146 異同なし。
- 31 10-518 31の1行目「大きみきや」, 877「大きみか」。3行目「あんしおそいしよ」, 518「あち
13-877 おそいしよ」, 877「あちおそいす」。4行目「てに」, 877「天」。7行目「いせゑけりあ
んし」, 518「いせゑけりあち」, 877「いしゑけりあち」。8行目「あゆ」, 877「あよ」。
9行目「たたみきよ」, 877「たゝみきよ」。12行目「大きみしよ 世しらめ」, 518・877
「大きみす よしらめ」。14行目「世」, 518・877「よ」。13行目「國」, 518・877「く
に」。15行目「はらはら」, 877「はらへ」。18行目「たいらあけて」, 518・877「たい
らけて」。19行目「もとろ」, 518「もとる」。

詞句・詞章・その他の異同

か。136は全2節のオモロで、18の第3・4節（最終節）を欠く。

137は全2節のオモロで、19の第3・4節（最終節）を欠く。

20の4・5行目「うらへと とよて みもん」、138「さいわたる みもん」。両首とも全2節のオモロ。

139は全2節のオモロで、21の第3・4節（最終節）を欠く。

21は863の第5節～7節（最終節）を欠く。863は2節以下各節に対句部の後半の一部「しまうちとみ」を記載する。

3首共に全2節のオモロ。

23の3行目「なよらに」、106「なよら」。両首ともに全4節のオモロ。

両首ともに全2節のオモロ。

異同なし。

143は全2節のオモロで、26の第3・4節（最終節）を欠く。

27の4行目「いのち」、144「のち」。144は全2節のオモロで、27の第3・4節（最終節）を欠く。

145は全2節のオモロで、28の第3・4節（最終節）を欠く。

29の3行目「大きみ」、147では「大きみや」と助詞「や」あり。147・1537は全2節のオモロで、29の第3・4節（最終節）を欠く。

30の2行目「もりに」、146「もりや」。3行目「いのりあかり」、146「のちあかる」。146は全2節のオモロで、30の第3節（最終節）を欠く。

31の4行目「てにきや下 おそちへ」、518「天下 おそい」。877「天きや下 おそい」。6行目「のたてゝ」、518は欠く。誤脱か。8行目と10行目の「あゆかうち」「おきもうち」が518では「おきもうち」「あよかうち」と入れ替わっている。11行目「せいくさ」、518「いくさ」。15行目「はらはら」、518「はらら」。16行目と18行目の「おほつな」「かくらな」が518では「かくらな」「おほつな」と入れ替わっている。16行目「世 そろへて」、518「よそい

節名の異同

なし。

19「あおりやへかふし」、137「あおりやへふし」。

20「あおりやへかふし」、138「あおりやへふし」。

21「あおりやへかふし」、139「あおりやへふし」。863「はつにしやかふし」。

22「きこへ大きみみてつからいのてかふし」、140「きこゑ大きみきやみてすからいのりふし」、368「きこへ大きみかみてつからかふし」。

23「よりきけらへかふし」、106「よきけらへかふし」。

24「あおりやへかふし」、141「あおりやへふし」。

25「あおりやへかふし」、142「あおりやへふし」。

26「あおりやへかふし」、143「あおりやへふし」。

27「あおりやへかふし」、144「あおりやへふし」。

28「あおりやへかふし」、145「あおりやへふし」。

29「大きとのけすのおもいあんしきやふし」、1531「大きとのけすのおもひあんしきやふし」。147は節名なし。

30「あおりやへかふし」、146「うらおそいおもろのふし」。

31「きこへ大きみきやさやはたけおれわちへかふし」、518「うらおそいふし」、877「うらおそいおもいのふし」。

判 定

○

△

○

☆

○

☆

◎

○

○

○

○

△

877○

518△

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 1-32 3-111 32の3行目「てによりした」, 111「天より下」。4行目「かほう」, 111「かふう」。
- 33 10-529 33の1行目「きこゑ」, 876「きこへ」。同じく1行目「大きみきや」, 876「大きみか」。
13-876 3行目「あんしおせいしよ」, 529「あちおせいしよ」, 876「あちおせいす」。5行目「あ
んしおせい」, 876「あちおせい」。6行目「たたみきや」, 529・876「たゝみきよ」。8行
目「せひやく」, 876「せいひやく」。11行目「あよ」, 876「あゆ」。13行目「けやるせい
やりとみ」, 529「けあるせやりとみ」, 876「けやるせやりとみ」。14行目「けやるてより
とみ」, 529「けあるておりとみ」, 876「けやるておりとみ」。19行目「首里」, 529・876
「しより」。21「ま玉」, 529・876「またま」。24行目「あいて」, 876「あいちへ」。
- 34 22-1533 3行目「うらうらと」, 1533「うらへと」。4行目「御さうせ」, 1533「おさうせ」。
- 35 11-561 35の1行目「大みきや」, 1413「大きみか」。3行目「あんしおせいしよ」, 561「あちお
21-1413 そいしゆ」, 1413「あちおせいしよ」。1456「あちおせいす」。3行目「世」, 561「よ」。
21-1456 6行目「きみはゑ」, 561「きみはい」。7・9・10・11・12・13・15行目の「しちへ」,
561・1413は全て「して」。10行目の「もりやへこた」, 1413「もりやゑこた」。10・12行
目の「ちやくに」, 1413「ちや國」。
- 38 3-95 38の4行目「首里」, 95「しより」。5行目「ま玉」, 95「またま」。10行目「こゆわち
へ」, 95「こよわちへ」。14行目「よひき」, 95「世ひき」。20行目「たけたけ」, 95「た
けへ」。30・31行目「世しらめ」, 95「ゆしらめ」「よしらめ」。

詞句・詞章・その他の異同

て」, 877「ゆそいて」。18行目「世そゑ」, 518「よせて」, 877「ゆそいて」。19行目「はらら」, 518「はらら」, 877「はらへ」。22行目「そゑて」, 518「よそい」。518は31の第11節（最終節）を欠く。877は31の第10・11節を欠く。877の第2節に反復句の一部記載あり。

32の1行目「きみおそい」, 111「きみおそいや」と助詞「や」有り。5行目「きみおそいきや」, 111「きみおそいや」。32は111の第5節以下の全詞句を欠く。

33の2行目「ちやくにや 世 そゑる」, 529「ちやくによせたる」, 876「ちやくにや 世そい」, 7行目（第5節対句部）「又 せいくさせち まされ」, 529は欠く。誤脱か。8行目「せひやくせち」, 529「ひやくさせち」。9行目「ころへ」, 529「ころた」。10行目「みしまかす ころへ」, 529「みまわすころた」。11・12行目（第9・10節）「あよ ちよく けに あれ」「きも ちよく たに あれ」が, 529では第7節・9節に「きも ちよく けに あれ」「あよ ちよく けに あれ」とある。13・14行目（第13節対句部）「やへましまいつこ／あよまよい しめや」, 529は「やへましまいつこ」を欠き, 「又 あよまよい しめて」。876「あよまよいしめや」の1行を欠く。15・16行目（第14節対句部）「又 はたらしまくはら／きもまよい とらちへ」, 529は「はたらしまくはら」を欠き, 「又 きもまよい しめて」。876は「又 はたらしまくはら／きもまよい しめて」。17行目「あせは」, 529・876「あせらは」。19行目「ちかわは」, 529・876「あせらは」。21行目「かみおそい」, 529「きゝ」, 876「かみへ」。876は第1～12節まで対句部の後半詩句（反復句の一部か）「ちやくにや世そい」を記載する。33・529は記載省略。

34の6行目「よりみちへに」, 1533「よりみちへは」。1533は全2節のオモロで, 34の第3節～11節（最終節）を欠く。

35の3行目「そゑれ」, 561「そろいれ」。5行目「おしやたるせいくさ」を561は欠く。9・17行目の「もとりよれ」, 561「もとりよわれ」。13・15行目の「もとりよわれ」, 561は13行目の「もとりよわれ」を欠き, 15行目は「もとりよれ」。1413は両者とも「もとりよれ」。19行目「あおてすもとりよれ」, 561は欠く。3首とも9節のオモロ。

38の3行目「いのられ」, 95「いのられゝ」。5行目「ちよわれ」, 95「ちよわる」。7行目「かいなて」, 95「かなて」。9行目「てつて」, 95「いきよて」。10・11行目の「ゑ

節名の異同

32「天より下の王にせかふし」, 111「うちいてはのちあかりのふし」。

33「あおりやくもりやあちのふし」, 529「あおりくものあんしのふし」, 876「きこへ大きみかせちとよむせいくさかふし」。

両オモロ節名同。

35「おらそいおもろのふし」, 561「きこゑ大きみきやさやはたけおれわちへかふし」, 1413「きこへ大きみかへ」。

両オモロ節名同。

判 定

○

529△

876△

529と

876の

関係も△

○

○

△

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 1-40 22-1524 異同なし。
- 2-84 9-503 84の1・5行目「みやあければ」、503ともに「みやければ」。
- 3-89 4-207 89の1行目「首里」、207・293・1376ともに「しより」。2・6行目「この」、207「此」。
6-293 3行目「すゑ」、293・1376「すへ」。5行目「國」、293・1376「くに」。13行目「きむ」、
20-1376 207・293・1376「きも」。13行目「はゑて」、293・1376「はへて」。15行目「み物きよら
あおらちゑ」、207・293・1376「みもんきよら あふらちへ」。16行目「よきて」、207・
293「よきちへ」。18行目「國」、207・293・1376「くに」。
- 91 3-149 異同なし。
- 92 7-365 92の3行目「あんしおそい」、365「あちおそい」。4行目「かわちゑ」、365「かわち
9-497 へ」。12行目「おほゑす」、365・497「おほへす」。16行目「かゑれ」、497「かいはれ」。18
行目「もりやゑこた」、365「もりやへこた」、497「もりあいこた」。19行目「かゑれ」、
365「かへれ」。23行目「おきむ うまれわちゑ」、365・497「おきもうまれわちへ」。24
行目「あちおそい」、365「あんしおそい」。
- 99 3-115 異同なし。
- 100 9-490 100の12行目「おこと あわしよわちへ」、490「御こと あわしゆわちへ」。15行目「あ
ちおそい」、490「あんしおそい」。22行目「おち」、490「うち」。26行目「あらかめ」、
490「あらきやめ」。27行目「天」、490「てに」。
- 109 7-387 109の3・8・10・12行目「おるちへ」、387「おろちへ」。9行目「七と」、387「なゝと」。
11行目「八とせ」、387「やとせ」。16行目「きみきみ」、387「きみへ」。

詞句・詞章・その他の異同

そこなよ」「みおうねなよ」, 95「ゑそこな」「みおうねな」と助詞「よ」を欠く。12・13行目「そこらしや」「まうれしや」, 95「そこらしやに」「まうれしやに」と助詞「に」有り。15・17・19行目「くりうけて」, 95は全て「おしうけて」。18行目「まやいとみ」, 95「あまへとみ」。20行目「たけたけよ」, 95「たけへに」。22・23行目「とりよわれ」・「とりよわよれ」, 95「とりよわやり」。25行目「みおうね」, 95「みおね」。27行目「あおなみやよ」, 95「あふなみやよ」。28・29行目「みまふら」, 95ともに「みまふり」。1524は全2節のオモロで、40の第3節～10節（最終節）を欠く。

84の4行目「こかきよる」, 503「こか しよる」。

89の3行目「きやめ」, 293「きやの」。89の8～11行目迄（第3節）の全詞句を207・293・1376共に欠く。12行目の「たゝみきよと」, 207・293・1376共に「たゝみきよ」で、助詞「と」を欠く。13行目「はゑて」, 207のみ「みちへて」。16行目「よきて」, 1376のみ「よりきちへ」。19行目「ひゝちへ」, 1376「ひらちへ」。84は反復句の部分記載。他は省略記載。

91の2行目「せたかこか」, 149「せたかこ」と助詞「か」を欠く。149は全2節のオモロで91の第3～7節（最終節）を欠く。91は反復句の部分記載。149は省略記載。

92の4行目「よりかわちゑ」, 497「よりあわちへ」。18行目「あかなてす」, 497「みまふてす」。92の24～26行目（最終節の反復部）, 497は欠く。92は反復部の部分記載。365は第2節～6節までは反復句の記載を省略し、最終節は全部を記載。497は省略記載。

115は全2節のオモロで、99の第3節～13節（最終節）を欠く。

100の8行目「大のし」, 490「大きみ」。10行目「きらやて」, 490「きこゑて」。16行目「せたかすゑ」, 490「てたかすゑ」。17行目行頭の「又」, 100は欠く。490は「又」有り。18行目「あおりやはな」, 490「あおりはな」。21行目「おきもうち」, 490「きもかうち」。28行目「ふさて」, 490「ふさよわ」。19行目「あやこま」, 490「あやこはま」。100は「あやこはま」の「は」誤脱か。

109の9行目「させわちへ」, 387「さうせわちへ」。109は「さうせわちへ」の「う」誤脱か。17行目「まふりよわちへ」, 387「まふりよわる」。18行目「かけおそて」, 387「か

節名の異同

判 定

40「せちやりへやまとしまひちめかふし」, 1524「おしかけふし」。 ○

84「うらおそいふし」, 503「かなふくかふし」。 ○

89・293・1376「あおりやへかふし」, 207「あおりやへふし」。 207と293と1376の △
関係は○

91「かくらとよてかふし」, 149「かくらふし」。 ○

92「きみのつちかふし」, 497「いへのいのりかふし」, 365は節名なし。 365○
497△

両オモロ節名同。 ○

490「にるやせちみおやせかふし」, 100は節名なし。 △

両オモロ節名同。 ○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 3-110 7-388 11の7行目「天」, 388「てに」。
- 112 22-1521 異同なし。
- 114 9-508 114の4行目「あんしおそい」, 508「あんしおそへ」。
- 116 12-652 異同なし。
- 117 12-653 異同なし。
- 118 12-654 118の3行目「しまかいのち」, 654「嶋か命」。
- 148 12-655 異同なし
- 150 12-740 150の4・5行目「すへ」, 740「すゑ」。
- 151 12-741 151の3行目「天下した」, 741「天きや下」。5行目「みまふる」, 741「みまふろ」。6行目「すゑ」, 741「すへ」。
- 4-152 4-169 152の5行目「あんしおそい」, 169「あちおそい」。
- 171 16-1127 171の2行目「あち」, 1127「あんし」。
- 173 22-1520 異同なし。
- 184 4-201 異同なし。
- 188 22-1514 188の4行目「あんし」, 1514「あち」。
- 203 12-720 203の1行目「きこへ」, 720「きこゑ」。10行目「かいなて」, 720「かひなて」, 12行目「あいちへ」, 720「あへちへ」。

詞句・詞章・その他の異同

けおかて」。

110の5行目「とよむせたかこ」、388「きこゑせたかこ」。
6行目「ゑらひやり」、388「ゑらひやり おれわちへ」。
100は対句部の一部の記載省略か。100は全3節のオモロ。
388は全5節のオモロ。100は388の第4・5節（最終節）
の詞句を欠く。

1521は全2節のオモロで、112の第2節の対句部の後半詞
句以下第7節（最終節）迄の全詞句を欠く。

114は全2節のオモロで、508の第3節～17節（最終節）の
詞句を欠く。

116は全2節のオモロで、652の第3・4節の詞句を欠く。

117の3行目「うちやかの」、653「うちあかる」。117は全
2節のオモロで、653の第3・4節（最終節）の詞句を欠く。

118は全2節のオモロで、654の第3～8節（最終節）の詞
句を欠く。

148の1行目「くにおそいきみ」、655「くにおそいきみの」
と、助詞「の」有り。3行目「くにかすの」、655「くにか
すの かほう」。148は「かほう」誤脱か。148は655の第2
節「又 せたかこ くにおそいきみの」を欠く。対句の構
成からみて655の形が良い。また、655の第4節（最終節）
も欠く。148は全2節のオモロで、第2節は655の第3節の
詞句がきている。655は全4節のオモロ。

150は全2節のオモロで、740の第3～10節（最終節）の詞
句を欠く。740に詞書あり。

151の1行目「みまふる」、741「まふる」。151は全2節の
オモロで、741の第3～10節（最終節）の詞句を欠く。

152の1行目「あおりやへや」、169「あおりやへか」。7行
目「おれかかわて」、169「おれかわて」。両首ともに全2
節のオモロ。

171の2行目「おみや」、1127「おやみや」。171の4行目
（反復句の一部）を1127は欠く。171は全2節のオモロで、
1127の第3節（最終節）の詞句を欠く。

1520は全2節のオモロで、173の第3節（最終節）の詞句
を欠く。その他は異同なし。

異同なし。

188の1行目「さすかさに」、1514「さすかさは」。1514は
誤写か。

203の3行目「くもこいろ」、720「くもこいろよ」と、助
詞「よ」あり。203の4行目「てりやあかて ちよわれ」、

節名の異同

110「きみのつんしかふし」、388「い
へのいのりのふし」。

112「あおりやへかふし」、1521「あ
ふりやへかふし」。

114「みしまいのられてかふし」、
508「さしふおれなおちへかふし」。

両オモロ節名同。

117「のちあかりのふし」。653は節
名なし。

118「おしかけふし」、654「おしか
けかふし」。

148「よきけらへふし」、655「よき
けらいかふし」。

150「あおりやへふし」、740「あお
りやへかふし」。

151「おしかけふし」。741は節名な
し。

両オモロ節名同。

171「あかんこかふねたてかふし」、
1127「おとゝきみまきりかふし」。

173「しまうちあちおそいかふし」、
1520「おちいてはおしかけかふし」。

184「よそわるあやこのふし」、201
「よそわる大やかかふし」。

188「すつなりかふし」、1514「なつ
たてはかふし」。

203「うらおそいふし」、720「うら
らそいふし」。

判 定

△

○

○

○

○

△

○

○

○

○

○

◎

○

○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 4-204 12-743 204の1行目「きこへ」、743「きこゑ」。3行目「よそう」、743「世そう」。4行目「あんしおそい」、743「あちおそい」。6行目「おれなふちへ」、743「おれなおちへ」。7・9行目「内」、743「うち」。11行目「あちおそい」、743「あんしおそい」。
- 205 6-291 205の1行目「首里」、291・1374・1522「しより」。2行目「くにおそいきや」、291「くにおそいか」。3行目「國」、291・1374「くに」。5行目「もちろ内に」、1374・1522「もちろうちに」。15行目「よりおれや」、291「ゆかおれや」、1374「ゆりおれや」。
- 206 6-292 206の2行目「すゑ」、292「すへ」。4行目「もちよろ」、292・1375「もちよる」。5行目「とよも國もりきや」、292・1375「とよむくにもりきや」。8・10行目「あちおそい」、1375「あんしおそい」。
- 208 6-294 208の2行目「首里もり」、294・1377「しよりもり」。3行目「あちおそいしよ」、294「あんしおそいしゆ」、1377「あんしおそいしよ」。8行目「すへの」、1377「すゑの」。13行目「むつき」、1377「もつき」。14行目「かいなてゝす」、294「かいなててす」。15行目「御さうせ」、1377「おさうせ」。
- 209 6-295 209の詞書「万曆三拾五年ひつゝの年拾月」、295「万曆三十五年ひつしの年十月」。本文2行目「首里もり」、295、1378「しよりもり」。3行目「あちおそいしよ」、295「あんしおそいしゆ」、744・1378「あんしおそいしよ」。7行目「あちおそいか」、295・1378「あんしおそいか」、744「あちおそいきや」。
- 210 6-296 210の詞書「ゐの年」、296「ゐのとし」。「せのきみ」、296で「せんきみ」。本文1行目「きこへ」、296・739「きこゑ」。5行目「きみとよみきや」、739「きみとよみか」。6行目「おれなふちへ」、296・739・1379「おれなおちへ」。7行目「みもん内の」、296・1379「みもんうちの」、296「みものうちの」。8・10・12行目「なふちへからわ」、296「なおちへからわ」、739「なおちへからは」、1379「なおちへからい」。13行目「むつき」、1379「もつき」。17行目「すゑ」、739「すへ」。
- 211 6-297 211の詞書「万曆卅五」、297「万曆三十五」。本文2行目「すゑ とまいて」、297・1380「すへ とまへて」、745「すへ とまいて」。3行目「あちおそいに」、297・745・1380「あんしおそいに」。4行目「しまか」、1380「しまる」。8行目「すへ」、297・1380「すゑ」。10行目「あいちへきみ」、745「あへちへきみ」。14行目「かいなてゝす」、297・1380「かいなててす」。15行目「御さうせ」、1380「おさうせ」。

詞句・詞章・その他の異同	節名の異同	判定
720「てりあかて ちようわれ」。7行目「ちよわる」、720「ちよわれ」。		
204の12行目「たゝみきよ」、743「たゝみきよ世」。743に詞書あり。204は詞書なし。	204節名「あおりやへふし」。743は節名なし。	○
205の2行目「くにおそいきや」、1374「くにおそいや」。4行目「もとて」、291「もとる」。5行目「もちろ内にもとて」、291「あよかうち もとる」。9行目「あわちへならて」、291「あわちへからわ」。12行目「ほこり」、1374「ほこれ」。16行目「よりみちゑの」、291・1374「よりみちへか」。17行目「せちよせの おなふさ」、291・1374「せちよせか なおさ」。19行目「かいなてら」、291「かいゑら」。291は205の5・7・9・11行目行頭に「又」有り。歌形論から「又」無い方がよい。1522は全2節のオモロ。	205「あちおそいしよよ□□かふし」、291「あちそいしよよせりかふし」、1374「あちおそいしよよしれかふし」、1522「あおりやへかふし」。	291△ 1374・ 1522○
206の11行目「み物の」、292・1375「みもんうちの」。206は「うち」が誤脱か。	206・292・1375いずれも節名なし。	○
208の9行目行頭の「又」、294になし。歌形論からは「又」有るべき。	208・1377「あおりやへふし」、294「あおりやへかふし」。	○
209の詞書「みのへ」は295では「みのへに」。「給申」は295で「給候」。744・1378は詞書なし。209の9行目行頭の「又」、295になし。歌形論からは「又」有るべき。9行目「きら」、295「うら」。	209・1378「あおりやへふし」、295「あおりやへかふし」。744は節名なし。	○
210の詞書「とりのへ」は296では「とりのへに」。739の詞書は「万曆三十五年云々」と別のものになっている。1379には詞書なし。210の9行目行頭の「又」、296になし。歌形論からは「又」有るべき。210の19行目「ちよわれ」、他は全て「ちよわる」。739には21・22行に2番目の反復句「すへなかく せち まさて ちよわれ」が記載されている。	210・1379「あおりやへふし」、296「あおりやへかふし」。739は節名なし。	○
211詞書「せんのみきの 御まへより給申」は297では「せんきみ御まへより給申候」。745・1380には詞書なし。211の2行目「おれわちへ」、745「おわちへ」。4行目「しまか」、1380「しまる」。同じく4行目「のち」、297・745・1380「いのち」。16行目「てるかはは」、745・1380「てるかは」。	211・1380「あおりやへふし」、297「あおりやへかふし」。745は節名なし。	○

巻・番号	重複オモロ	表記の異同
5-225	12-675	225の1行目「首里またまもり」, 675「しよりまたまもり」。2・5行目「せたかあちおそい」, 675「せたかあんしおそい」。
226	12-676	226の2行目「そろゑわちゑ」, 676「そろゑわちへ」。3行目「あかなさいきゆ」, 676「あかなさいきよ」。4行目「もち月」, 676「もちつき」。
237	22-1515	237の2行目「けらゑ」, 1515「けらへ」。3行目「そろて」, 1515「そるて」。
239	22-1516	異同なし。
242	22-1508	異同なし。
268	12-666	268の3行目「たま」, 666「玉」。4行目「きやん内」, 666「きやの内」。5行目「とゑは」, 666「とへは」。6行目「ひとの」, 666「人の」。
270	12-667	270の7行目「いつゝところに」, 667「五ころに」。8行目「おれなおちへからわ」, 667「おれなふちへからは」。9行目「なゝつところに」, 667「七ころに」。10行目「おれふさてからわ」, 667「おれふさてからは」。
6-308	22-1526	308の1行目「きこへ」, 1526「きこゑ」。2行目「きみきや いのる」, 1526「きみかいのろ」。
316	22-1551	異同なし。
317	6-322	317の1行目「きこへ」, 322「きこゑ」。
324	22-1525	324の4行目「きこへ」, 1525「きこゑ」。
330	22-1512	異同なし。
334	12-734	334の18行目「この」, 734「此」。
335	22-1527	異同なし。

詞句・詞章・その他の異同

225の5行目「せたかあちおそいや」、675「せたかあんしおそい」と、助詞「や」を欠く。

226の3行目「てつて」、676「てつら」。4行目「もち月きや」、676「もちつきや」。

1515は全2節のオモロで、237の第3節「又 かゑふたの～とらちへ」の全詞句を欠く。

239の3行目「こかねうち」、1516「こかねうち」。4行目「しねりや」、1516「しねり」。

1508は242の第2節「又 しねりやこか～おれたれ」、第4節「又 ほうさき～つけるな」の全詞句を欠く。つまり、1508は242の第1節と第3節の2節からなるオモロ。

異同なし。

異同なし。

異同なし。

1551は全2節のオモロで、316の第3・4節の全詞句「又 きこへあんしおそいや／又 とよむあちおそいや」を欠く。

317の2行目「ともゝと」、322「とひやくさ」。

324の4行目行頭の「又」、1525になし。歌形論からは「又」有るべき。1525は324の第4節（最終節）の全詞句「又 たまあしちや ふみよわちへ」を欠く。（1525は4行目行頭の「又」を欠くことによって全2節のオモロの形になっている）。

1512は全2節のオモロで、330の第3・4節の全詞句「又 たまみしやく／又 たまみねふ」を欠く。

334の3行目「しよりもり」、734「しより」。734は「もり」誤脱か。7行目「おれかわて」、734「おれかわちへ」。

1527は全2節のオモロで、335の第3・4節（最終節）の全詞句「又 しよりもりくすく／又またまもりくすく」を欠く。

節名の異同

225節名なし。675「あふりやへかふし」。

226節名なし。676「あふりやへかふし」。

237「うらおそいおやのろかふし」、1515「うらおそいふし」。

239「きこへ大きみかおれてあすひやられはかふし」、1516「のちあかりのふし」。

両オモロ節名同。

268「くすくまの大や又よしの大やきやんこちあまへかふし」、666「くすくまの大や又よしの大やかふし」。

270「きこゑあおりやへかとすゑやすゑきやめもかふし」。667「きこへあふりやへや十すへ八すへきやめかふし」。

308「きみかなしかふし」、1526「きみかなしふし」。

両オモロ節名同。

317「きこへきみかなしねいしまいしのふし」、322「ねいしまいしのふし」。

324「きこへさすかさかつゝみのあちなりかなしふうくにうちよせるかふし」、1525「かみしも天とよみかふし」。

330「うちいては大きみ御まへかふし」、1512「おちいてはいとかすおもろのふし」。

734「きみかなしふし」。334は節名なし。

335「やまきたらすさへかふし」、1527「やまきおもろのふし」。

判定

○

○

○

○

△

☆

☆

◎

○

△

○

○

○

○

巻・番号	重複オモロ	表記の異同
6-336	22-1528	異同なし。
339	12-678	339の11行目「こくせの」, 678「こゝせの」。
7-346	22-1539	346の2行目「ちゑねんもり」, 1539「ちねんもり」。
349	22-1544	349の5行目「たますたり」, 1544「たますたれ」。
359	9-502	異同なし。
369	11-617 21-1439	369の1行目「きこゑ」, 617「きこへ」。1・5・8行目「あちおそい」, 617「あんしおそい」。3行目「まふりよわは」, 1439「まふれよわは」。4行目「もゝすゑ」, 1439「もゝすへ」。7行目「大きみしよ」, 617・1439「大きみす」。9行目「大きみしよ」, 617「大きみしゆ」。11行目「きみはゑや」, 617「きみはへや」。12行目「あんしおそいきや」, 617「あんしおそいか」, 1439「あちおそいか」。13行目「きみはへや」, 617・1439「きみはゑや」。19行目「金すゑ」, 617「こかねすへ」, 1439「金すへ」。20行目「あんしおそいに」, 617「あちおそいに」。
379	13-851	379の1行目「天に」, 851「てにゝ」。6行目「ち天」, 851「ちてに」。
391	22-1546	異同なし。
8-416	8-434	異同なし。
437	20-1372	437の1行目「大里」, 1372「大さと」。2行目「大さとの」, 1372「大里の」。3行目「しま尻」, 1372「しましり」。
438	20-1373	異同なし。
9-480	11-595 21-1462	480の4・5行目「やちよく」, 595「やちよこ」。7行目「なかに」, 595「中に」。第3節まで480と1462は表記のレベルでは全同。595の8・9行目「くもこも／またまも」, 1462「くもこむ／またまむ」。
487	21-1400	487の2行目「世かけにせさ」, 1400「よかけにせさ」。5行目「あんしおそいや」, 1400「あちおそいや」。
498	16-1159	498の3行目「しま世の」, 1159「しまよの」。

詞句・詞章・その他の異同	節名の異同	判 定
1528は全2節のオモロで、336の第3・4・5節の全詞句「又 きこゑみやきせんに～又 けおのきやかるひに」を欠く。	336「やまきたらすさへかふし」、1528は「同ふし（やまきおもろのふし）」とある。	○
異同なし。両オモロとも全6節のオモロ。	両オモロ節名同。	☆
1539は全2節のオモロで、346の第3～7節の全詞句「又 きこゑあんしおそいきや～もちろうちの もちよろ」を欠く。	両オモロ節名同。	○
1544は全2節のオモロで、349の第3～6節の全詞句「又 きこゑ大きみきや～はつにしきや たては」を欠く。	349「ひやくなうらしろかふし」、1544「ひくな～」。	○
359の1行目「てるきみきや」、502は「てるきみや」。2行目「とりよわちへ」、502「こよわちへ」。359は全4節のオモロで、502は全2節のオモロ。しかも359と502の第2節の詞句は全く別詞句。	359「きこへきみのつんしのふし」、502「きみのつちのふし」。	×
369の8行目「あちおそい」、617・1439「あんしおそいや」と助詞「や」がある。20行目「みおやせ」の下に617「は まふりよわれは もゝすゑ ちよわれ」、1439「は まふりよわは」と続くが、369は欠く。	369「とかしきのかねつかふし」、617「うちいてはくめのやまくすくのふし」、1439「うちいちへはとかしきのかねつかふし」。	○
379は全2節6行の形で、851の7行目の詞句「あけもとの はなの」を欠く。	379「うちいてはふへのとりの節」、851「うちいてはあかるゑとのふし」。	○
異同なし。	391・1546ともに節名なし。	◎
416の3行目「みやかよせなりかなし」、434「みやかよせきゝかなし」。反復句がことなっている形である。	両オモロ節名同。	△
437の2行目「おもいいちへてた」、1372「おもいいちへのてた」。3行目「しま尻」、1372「しましりに」と助詞「に」あり。	437「あかのこかふねたてふし」、1372「ふねたてはかふし」。	○
異同なし。	438「あかのこかふねたてふし」、1373「ふねたてはかふし」。	◎
480は全3節のオモロ。595・1462は全4節のオモロ。480は595・1462の第4節（最終節）の全詞句を欠く。なお、1462は7・9行目行頭に「又」があるが、歌形論からはない方がよい。	480「おわもりやけおのきみのふし」、595「うちいてはおわもりかけおのきみのふし」、1462「うちいちへはおわもりきやけおのきみかふし」。	○
異同なし。	487「おにのきみこゑかふし」、1400「うちいておにのきみこいふし」。	○
498の2行目「しけちは まさらす」、1159「しけちなは まさうす」。1159は全2節のオモロで、498の第3・4節（最	498「しよりもりくすくのふし」、1159「いへのいのりかふし」。	△

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 9-500 11-605 500の1行目「さすかさは」、605「さすかさわ」。2行目「おもひきみ」、605・1425「おもいきみ」。3行目「よ」、605・1425「世」。3行目「けらへて」、1425「けらゑて」。
- 21-1425
- 509 13-881 509の1行目「きこゑせのきみきや」、881「きこへせのきみか」。2行目「せのきみきや」、881「せのきみか」。
- 510 13-892 510の1行目「まねまね」、892「まねへ」。
- 10-512 22-1529 異同なし。
- 514 22-1534 異同なし。
- 515 13-865 515の1・4行目の助詞「きや」、865ではいずれも「か」。
- 517 13-976 517の2・5行目の「とよも」、976では「とよむ」。
- 530 22-1545 異同なし。
- 541 13-957 541の4行目「うゑたひ」、957は「おいたひ」。4行目助詞「か」、957「きや」。7行目「ゆみき」、957は「よみき」。
- 546 13-866 546の2行目「おきにや」、866「おきなわ」。助詞「す」、866「しよ」。3行目助詞「きや」、866「か」。4行目「なけち」、866「なけちへ」。5行目「あよて」、866「たよて」。
- 547 21-1447 547の6行目「いたきよら」、1447「いちやきよら」。

詞句・詞章・その他の異同

終節)の全詞句「又 とよむ〜しつらいか」を欠く。

500の3行目「けらへて」, 605「けらへ」。4行目「さすかさか」, 605・1425「さすかさは」。1425の第2節には対句部の後半部「なさか おもいきみ」が記載されているが、500・605は記載しない。

881は第2節にも反復句「うらへ〜と はりやせ」の記載あり。509は反復句の省略記載。

異同なし。(なお、仲吉本892オモロには詞書「先王尚寧尊君御上国之御時をなちやらの御前御つくり被召候おもろ」とあり)。

512の4行目「はちまりに」, 1529「はちまりや」。1529は全2節のオモロで、512の第3節から19節(最終節)までを欠く。512は「詞書」なし。1529「知念久高行幸之御時おもろ/首里御城御打立の御時」とあり。

1534は全2節のオモロで、514の第3節から20節(最終節)までを欠く。514は「司書」なし。1534「斎場御棧敷にて」とあり。

515の2行目「いとめつら」, 865では「たまめつら」。5行目の「玉めつら」は「いとめつら」と入れ代わっている。

515の3行目「しよわちへ」, 865「みもん」。515の5行目「たまめつら」の下には「めしよわちへ」の記載が省略されているが、865には「めしよわちへ」の記載あり。865は515の第3節以下第8節(最終節)の全詞句を欠く。

517の4行目「わかいきよ いきやて みちやる」, 976では「なさいきよ いきやて みよわちへ」。517の第3・4節は「又 あさとれか しよれは/又 ようとれか しよれは」。976は「あける月 せと しやり/又 なおり月 せと しやり」と異なっている。517は8節より成り, 976は4節より成る。

1545は全2節のオモロで、530の第3節以下第8節(最終節)の全詞句を欠く。

541の1・3・4・5行目「みちよいもい」, 957「みておもい」。541の2行目「はやせ」, 957「はりやせ」。541は「り」誤脱か。8行目「おとちやんは さそやり」, 957は「ともからは さそて」。9行目「さそやり」, 957は「さそて」。

546の1行目末に感動詞「ゑ」あり。866には欠く。866は546の第5節以下第16節(最終節)までを欠く。

1447は547の第6節以下第10節(最終節)を欠く。1447の第6節「又 かいきや のほて/やれ このへ」は混入オモロ。

節名の異同

500「しけちなはかふし」, 605「きこへくしかいしけちなはかふし」, 1425「きこへくしかわにしけちなはかふし」。

509節名なし。881「きこへせのきみかとかはさめかふし」。

両オモロとも節名なし。

512節名なし。1529「むかしはしめからのふし」。

両オモロ節名同。

515「大きみきやときとやりきやふし」, 865「大きみか時とりやりかふし」。

両オモロ節名同。

両オモロ節名同。

541は節名なし。957「こはせりきよみやりほしやかふし」。

両オモロ節名同。

547「くにちやかかふし」。1447「くめのこいしのか くにちやかふし」。

判 定

○

○

☆

○

○

△

×

○

△

○

○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 10-549 13-810 549の1行目「こいしのか」、810「こゑしのか」。3行目「たま世せ」、810「たまよせ」。
- 552 13-838 552の2行目「あふらちへ」、838「あおらちへ」。5行目の「ゆとり」、838「ゆうとり」。7・8行目「しない」、838「しなへ」・「しちへ」。
- 554 13-868 554の1行目「きこへ」、868「きこゑ」。4・6行目「おきしま」、868「うきしま」。7・9行目助詞「かち」、868「きやち」。14行目「せりよさ」、868「せりゆさ」。15・16行目「かいふた」、868「かゑふた」。
- 11-557 21-1409 557の6行目「みちへ」、1409「みちゑ」。6・7行目「いちへ」、1409「いちゑ」。同じく「ぬはまし」、1409「のはまし」。
- 558 21-1410 558の3行目「世なおしか」、1443「よなおしきや」。同3・5行目「おわちへ」、1410「おわちゑ」。5行目「なさかまへ」、1410「なさかまゑ」。8行目「あんし」、1410「あち」。10行目「すへ」、1410「すゑ」。12行目「やへま」、1410「やゑま」。16行目「いなくに」、1410「いにやくに」。20・21行目「わたちへ」、1410「わたちゑ」。22行目「すゑ」、1410「すへ」。
- 559 21-1411 559の4・6行目「中ち」、1411・1499「なかち」。7行目「けらへ」、1411「けらゑ」。17行目「みかう」、1411「みかを」。
- 560 21-1412 異同なし。

詞句・詞章・その他の異同

549の2行目「くにちやかよ わかきよか」, 810「くにたか わかきうか」。810は第2節に反復句の一部「くにたか」の記載あり。810は全4節のオモロで、549の第5節以下第8節（最終節）を欠く。

552の1行目「やれ」, 838「やれかゑ」。第2節から第5節まで「又 あけしのゝ のろにしや／又 なよかきの せと ちやうす／又 そてきよらか ゆとり ちやうす／又 なよかきの てとり ちやうす」の詞句が、838では「又 なよかきの のろにしや／又 あさとれ ようとれ／又 いたきよら たなきよら／又 ふなこ ゑらて てかち ゑらて／又 あけしのお せと しちやうす」とことなり、節数にも違いが出ている。又、552の第8・9節（最終節）の「又 ておの いとは もてあわしやり みなわせ／又 ておの いとは おしあわしやり たつなせ」は838には欠けている。

554の6行目「から」, 868「かゝら」。9・10行目「中せとうち」, 868「中せち」。868は「中せとうち」の「とう」の二字誤脱か。554の第9節から第14節（最終節）は「又あすもりにから／あかまるにかち／又 あかまるにから／さちきやもりかち／又 さちきやもりから／かなひやふにかち／又 かなひやふから／さきよたにかち／又 さきよたから／おやとまりに ち／又 おやとまりから／しよりもりにかち」であるのに対し、868は「又 あすもりにから／かなひやふにかち／又 かなひやふにから／なはとまりかち」と異なっている。868は全10節のオモロ。

557の第2節以下第4節（最終節）が1409に混入したものであり、重複とは認めない。

558・1410は全7節のオモロ。1443は第2節迄が重複で、それ以下は混入オモロ。558は完全記載であるが、1410は第4節以降は反復句「ともゝすへ あちおそいす ちよわれ」の一部「ともゝすへ」のみが記載される部分記載となっている。

559と1411は全同。1499は559の第2節の対句部の後半「ゑんけらへ ありる」以下第8節（最終節）を欠く。詞句に異同なし。560の第5節を除くと、反復句の記載は560・1412ともに「あかなさす ふため まさりよわれ」の第1句（「あかなさす」）のみの記載である。560の第5節は「あかなさす ふため」と第2句まで記載されている。1412の第5節は「ふため」の誤脱か。あるいは記載の省略か。または、第5節より対句の型が異なることから、560

節名の異同

549は節名欠く。810「ふなやれひやしかふし」。

両オモロ節名同。

554「うちいてはさはしきよかふし」, 868「うちいてはさはしきうかふし」。

558「くめのきみはいかふし」, 1410「くめのきみはいまへにかちよてこうかふし」。1443は節名なし。

559「くめのきみはへかふし」, 1411・1499「くめのきみはゑかふし」。560「うちいてはくめの太おそいかいふし」, 1412「うちいちへはくめの太おそいかふし」。

判 定

○

×

×

×

○

1411☆

1499△

☆

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 11-562 21-1414 562の1・2行目「わりきやね」, 1414「わりかね」。3行目「うきくも」, 1414「うきよくも」。
- 563 21-1415 563の3行目「しゆわれ」, 1415「しよわれ」。4行目「中ち」, 1415「なかち」。
- 564 21-1416 564の2行目「きみはい」, 1416「きみはゑ」, 6行目「いちやへくち」, 1416「いちやちやくち」。
- 565 21-1484 565の3行目「おきおほちきや」, 1484「うきおほちか」。4行目「うみや」, 1484「おみや」。同4行目「わちへ」, 1484「わちゑ」。
- 566 21-1432 566の1・4行目「しゆ」, 1485「しよ」。2行目「もゝあんし」, 1485「もゝあち」。助詞
21-1485 「ちよむ」, 1485「ちよも」。4行目「よかる」, 1485「世かる」。
- 567 21-1433 567の1・2行目「しゆ」, 1433「しよ」。
- 569 21-1420 569の3行目「しゆ」, 1420「しよ」。
- 570 21-1421 570の1行目「いやゝ」, 1421「いやや」。1・2行目「しゆ」, 1421「しよ」。5行目「まもん」, 1421「ま物」。6・7行目「きよもの」, 1421「きよ物」。
- 571 21-1422 571の1行目「いやゝ」, 1422「いやや」。1・2行目「しゆよ」, 1422「しよ世」。
- 572 21-1457

詞句・詞章・その他の異同

は反復部を丁寧に示そうとしたものか。

異同なし。

563の第2節は反復句は記載省略されているが、1415は「あやきやね おしあい しゆわれ」の第1句「あやきやね」の記載された部分記載である。

564の第5節（最終節）「又 あやみやの～まちより」の全詞句を1416は欠く。

565の3行目「もりに」、1484「もり」で、助詞「に」を欠く。565は第2節以下第4節（最終節）まで反復句は記載省略。1484反復句「たりるこの みるやに つかい」の第1句「たりるこの」を記載する部分記載。

566の1・4行目「とよたしゆよ」、1432「とよたし」、1485「とよたしよ」で「～しよ」は「主」のオモロ表記か、「子よ」か。後者ならば、3者が全部異なることになる。2行目の感動詞「ゑ」、1485に欠く。5・6行目の助詞「や」、1432に欠く。1485はこの部分から混入オモロとなっている。566は第2節以下第4節（最終節）まで反復句の記載省略。1432と1485(混入部分を除く)は反復句の一部(「もゝあちやはやちよむ」)を記載する部分記載。

567の1・2行目「しゆよ」、1433「しよ」で、助詞「よ」を欠く。(なお「しよ」が「子よ」であれば、「主」と「子」の異なった語となる)。567の3行目以下5行目までの反復句「けらへきみ きよらや てた」が1433では「けらへ」までしか記されてなく、「きみ～」を欠く。また、1433は本来断片オモロとみられる。1433の4行目は混入オモロ。

569の1・3行目「しゆよ」、1420「しゆ」・「しよ」で、助詞「よ」を欠く。

570の1・2行目「しゆよ」、1421「しよ」で、助詞「よ」を欠く。

571の第2節の対句部後半「こゝはんた みれは」以下、第6節（最終節）までの全詞句を1422は欠く。1422は全2節のオモロ。

572と1457は本来重複とは認めない。1457の後半に572の「一 きみよしか／さしふ てるくもは／いきやる さうす あてか／又(以下略)」の「てるくもは」以下の全詞句が混入したものの。

節名の異同

562「うちいてはあまみやみるやにかふし」、1414「うちいちへはあまみやみるやにかふし」。

563「うちいてはくめのきみはいかふし」、1415「うちいちへはくめのきみはゑかふし」。

564「さはしきよかふし」、1416「うちいちへはさはちきよかふし」。

565「うちいてはあまみやみるやにかふし」、1484「うちいちへはあまみやみるやにふかし」。

566「なかふし」、1432「あおりやへかふし」、1485「ゑんことよたしよ おもいきみけらへきみかふし」。

567「なかふし」、1433「ゑんことよたしよもゝあちやはやちよもかふし」。

569「ゑんことよたしゆもゝあちかふし」。1420節名なし。

570「うらきらしやみほしやかふし」、1421「いややとよたしよまくしとよたしようらきらしやみほしやかふし」。

571節名なし。1422「いややとよたしよまくしとよたしよおややよりこのてかふし」。

節名の異同についてはふれず。

判 定

☆

○

○

○

○

△

○

○

○

×

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 11-573 21-1458 573の3行目「あんし」、1458「あち」。11行目「のち世かる」、1458「のちよかる」。
- 574 21-1459 574の1行目「きこへ」、1459「きこゑ」。同じく1行目「せんきみきや」、1459「せのきみか」。2行目「まけらへ しよわちへ」、1459「まけらゑ しよわちゑ」。4行目「きこへあんしおそい」、1459「きこゑあちおそい」。6行目「こみかす」、1459「こめかす」。
- 575 11-642 575の1行目「あちはいや」、642「あんしはへや」、1460「あちはゑや」。3行目「いくさこ」、642「いくさこう」。5行目「きもたか」、642「きむたか」。
- 576 21-1489 576の1行目「あおりやへ」、1489「あおりやゑ」。2行目「けらへ」、1489「けらゑ」。4・5行目「ま御みことる」、1489「まおみことる」。6行目「よいつちへ」、1489「ゆいつちへ」。
- 577 21-1454 577の1・4行目の「こいしの」、1454「こゑしの」。2行目の「もゝすへ」、1454「もゝすゑ」。3・5行目の「きこへ」、1454「きこゑ」。同じく5行目「あんしおそい」、1454「あちおそい」。
- 578 21-1503 578の1・4行目の「こいしの」、1503「こゑしの」。2行目の「みのかは」、1503「みのかわ」。3行目の「うちちへ」、1503「うちちゑ」。同じく5・6行目「けお」、1503「けよ」。同じく5行目「世かる」、1503「よかる」。6行目「きやかる」、1503「きやへる」。
- 579 21-1504 579の1・3行目の「こいしの」、1504「こゑしの」。2行目の「せらせ」、1504「せよせ」。4行目の「きこへ」、1504「きこゑ」。
- 580 21-1505 580の1・2行目の「こいしの」、1505「こゑしの」。3行目の「せたかさ」、1505「せいたかさ」。5行目「あんしおそい」、1505「あちおそい」。
- 581 21-1506 581の2・6行目「ま御みことる」、1506「ま御みことろ」。3行目「こいしの」、1506「こゑしの」。
- 582 21-1507 582の4行目「まさりゆわる」、1507「まさりよわる」。

詞句・詞章・その他の異同

573の6行目「きみ」、1458「きみよ」と助詞「よ」あり。
9行目「あさいに」、1458「あさいよ」。573は第2節は反復句の一部「きみよ ほこりよわちへ」のみの部分記載。
第3節以下第7節（最終節）は反復句全体を省略する省略記載。1458は第2節以下第7節（最終節）まで、573の第2節と同じ形の部分記載。

574の6行目「こみかす」、1459「こみめかすの」と、助詞「の」あり。

575の2行目「はやさ」、642「はやせ」。3行目「いくさこ」
642「いくさこうよ」と、助詞「よ」あり。642は575の第3節の全詞句「又 中くすくおもい」を欠く。575の5行目「きもたかのおもい」、642では「きむたかおもい」と、助詞「の」を欠く。642には575に無い「又 しまおそいのおもい／又 きやか はた みやれは」の2節の対句部詞章がある。575は全4節。642は全5節。1460は575の第3節以下最終節までの全詞句を欠き、混入オモロが接続している。

576の第6節以下第12節（最終節）までの全詞句を1489は欠く。1489の第5節の下に混入オモロの断片が接続している。

577は反復句の記載を第2節以下最終節まで省略する省略記載。1454は第2節以下では「もゝすえ とよむ」のみを記載する部分記載。

578は反復句の記載を第2節以下最終節まで省略する省略記載。1503は第2節以下では「ゑけ みのかわ」のみを記載する部分記載。

異同なし

異同なし

581の反復句の記載は第2節だけ「こいしのす」のみを記載する部分記載で、第3節以下第6節（最終節）まで反復句の全部を省略する省略記載。1506は第2節以下第6節（最終節）まで反復句の全部を省略する省略記載。その他異同なし。

582の1行目「くしかわの」、1507「くしかわ」と、助詞「の」を欠く。582の第4節（最終節）「又 やまとふね せに こかね／もちよせる くすく」を1507は欠く。1507は全3節のオモロ。

節名の異同

573「うちいてはあまみやみるやにかふし」。1458「うちいちへはあまみやみるやにかふし」。

両オモロ節名同。

3オモロとも節名同。

576「うちいてはきたゝん世のぬしかふし」、1489「うちいちへはきたゝん世のぬしかふし」。

577「あおりやへかふし」。1454節名なし。

578「あおりやへかふし」。1503節名なし。

両オモロ節名同。

両オモロ節名同。

581「うらおそいふし」、1506「うらおそいおもろのふし」

両オモロ節名同。

判 定

○

○

642△
1460○

○

○

○

☆

☆

○

○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同
 11-586 21-1473 異同なし。

- 587 21-1474 587の2行目「ゆりみちへれ」、1474「よりみちへれ」。6行目「あんしおそい」、1474「あちおそい」。
- 588 21-1475 588の3行目「あんしおそい」、1475「あちおそい」。4行目「けらへみや」、1475「けらゑみや」。
- 589 21-1476 異同なし。
- 590 21-1477 590の2行目「ま物よのぬしのまもん」、1477「ま物世のぬしのま物」。3・4行目「なしよわちへ」、1477「なしよわちゑ」。
- 591 21-1478 591の1・2行目「こいしの」、1478「こゑしの」。6・8行目「うへけ」、1478「うゑけ」。12行目「くにゝ」、1478「くにに」。
- 592 21-1479 592の2行目「あんしおそい」、1479「あちおそい」。
- 593 21-1480 593の1行目「よゝせきみ」、1480「世よせきみ」。
- 594 21-1461 594の2行目「つかい」、1461「つかひ」。8行目「こしらへ」、1461「こしらゑ」。
- 596 21-1463 596の1・5・6行目「時」（7例）、1463全て「とき」。596の1・5・7行目「かみか」、1463「かみきや」。6行目「けお」、1463「けよ」。
- 598 21-1452 598の1行目「きこゑ」、1452「きこへ」。4行目「みこい」、1452「みこゑ」。

詞句・詞章・その他の異同	節名の異同	判 定
586の第3・4・6・7節の「くしかわに」「かなふくに」「おきなわに」「大くに」と、1473では「くしかわ」「かなふく」「おきなわ」「大くに」と、助詞「に」を全て欠く。第11節「さゝけれ」が、1473では「さしあけれ」。	586「おにのきみはいややほうひちへかふし」、1473「やほうひちへまちよらかふし」。	○
587の5行目「わかいきよもい」、1474「わかきよもい」。	587「たんなかふし」、1474「うちいちへはすゑのちにやうるわしかふし」。	☆
異同なし。	588「かねくすくおもいくわのふし」、1475「うちいちへはかねくすくおもいくわのふし」。	☆
589は反復句の記載を第2節以下最終節まで省略する省略記載。1476は第2節以下では「もゝうらまちらす」のみを記載する部分記載。	両オモロとも節名同。	○
異同なし。	590「たんなかふふし」、1477「おもろねやあかりすゑのちにやうるわしかふし」。	☆
591の3行目「ききほしや」、1478「ききほし」。1478は「ききほしや」の「や」の誤脱とみられる。7行目「あやみね」、1478「あやみや」。	両オモロ節名同。	○
592の4行目「大や」、1479「ちや」。592は反復句の記載を第2節以下最終節まで省略する省略記載。1479は第2節以下では「きこゑあちおそいや」のみを記載する部分記載。	両オモロ節名同。	○
593の第2節以下第12節（最終節）までの全詞句を1480は欠く。1480は1節のみのオモロ。	593「やちよこいよやにかふし」、1480「おにのきみはゑややちよくいよやにかふし」。	○
594の3行目「せのきみきや」、1461「せのきみや」。対句からすると「きや」（が）より「や」の方が良い。	594「きこへせのきみきやいけへとそろわはかふし」1461「きこへせのきみきやいけへとそろわはおれわにかふし」。	○
596の1行目「ねうしか時」、1463「ねうしとき」と、助詞「か」を欠く。3行目「うちよわちへ」、1463「うちよちへ」と「わ」が誤脱。5行目「かみか時」、1463「かみかときは」と、助詞「は」ある。596の6行目「かみ時」、1463「かみきやとき」。596「か」または「きや」の誤脱。	596「やふつよためかちへかふし」、1463「やふつよためはかふし」。1463「かちへ」の3文字誤脱か。	○
598の1行目「さすかさは」、1452「さすかさ」で、助詞「は」を欠く。592は反復句の記載を第2節以下最終節まで省略する省略記載。1452は反復句の一部を記載する部分記載だが、第2節と第3・4節では記載部分に異同がある。すなわち、第2節では反復句「おとゝきみやれとも／おれ	598「あおりやへかふし」、1452節名なし。	○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 11-599 21-1417 599の4・5行目「けお」, 1417「けよ」。4行目「世かる」, 1417「よかる」。5行目「きやかる」, 1417「きやへる」。6行目「あんしおそい」, 1417「あちおそい」。
- 600 21-1418 600の1行目「うちちへ」, 1418「うちちゑ」。600の6・7行目「けお」, 1418「けよ」。6行目「世かる」, 1418「よかる」。7行目「きやかる」, 1418「きやへる」。8行目「あんしおそい」, 1418「あちおそい」。
- 601 21-1419 601の4・5行目「けお」, 1419「けよ」。4行目「世かる」, 1419「よかる」。6行目「あんしおそい」, 1419「あちおそい」。
- 602 21-1464 602の2行目「まへさうす」, 1464「まゑさうす」。同じく2行目「ありては」, 1464「ありちゑは」。4行目「中ち」, 1464「なかち」。
- 603 21-1423 603の6行目「つゝて」, 1423「つへて」。
- 604 21-1424 604の5行目「御みかう」, 1424「おみかう」。6・12行目「ちやうわちへ」, 1424「ちよわちへ」。8行目「おしやけわちへ」, 1424「おしあけわちへ」。
- 606 21-1426 606の2行目「たりしゆ」, 1426「たりしよ」。4行目「まもん」, 1426「ま物」。
- 607 21-1427 607の2行目「しなは」, 1427「しなわ」。3行目「まもん」, 1427「ま物」。
- 608 21-1428 608の2行目「御みしやく」, 1428「おみしやく」。3行目「まもん」, 1428「ま物」。4・5行目「あふ」, 1428「あお」。
- 609 21-1429 609の2行目「くにてもち」, 1429「國てもち」。同じく2行目「けらへて」, 1429「けらゑて」。4行目「まへ」, 1429「まゑ」。

詞句・詞章・その他の異同

るかす／きみ はやす みこゑ」の2行目「おれるかす」のみを記載するが、第3・4節では「おとゝきみやれとも／おれるかす」までを記載する。

599は5行目行頭に「又」の記載なし。1417にあり。599は誤脱。

600は反復句の記載を第2節以下最終節まで省略する省略記載。1418は反復句「おもろする 大や／世そう ひやし／うちちゑ みおやせ」の一部「おもろする 大や」を記載する部分記載。

601の第6節（最終節）「又 せたかこかみ御まへ」を1419は欠く（1419は全5節のオモロ）。

602は反復句の記載を第2節以下最終節まで省略する省略記載。1464は反復句「まゑさうす ありちゑは／ゑけ まさき きく うらやみ」の一部「まゑさうす ありちゑは」を記載する部分記載。1464の6行目は混入オモロの断片。異同なし。

604の12行目「まきあけわちへ」の下に「ちやうわちへ(ちよわちへ)」を欠く。1424には「まきあけわちへ ちよわちへ」とある。14行目「まきあけわちへ」、1424では「おしあけわちへ」とあるが、604の形が良い。

606は第2～第4節は反復句の全部を記載上省略。第5節（最終節）は反復句「たりしゆ とよめ／みれは みつまわて」の一部「たりしゆ とよめ」のみを記載する部分記載。1426は第2～第5節（最終節）まで、反復句の一部「たりしよ とよめ」のみを記載する部分記載。異同なし。

608の1・3行目「わかてたに」、1428「わかてたよ」。2行目「ぬぎあけ」、1428「ぬぎあけよ」。6行目「とよたる」、1428「とよた」。7行目「おやおもい」、1428「おやくもい」。

609の第1節の最終行「まへ よせて ちやうわれ」以下、第2節～第4節の全詞句を1429は欠く。1429は第1節の最終行の「まゑ」の句で切れており、以下には混入オモロが接続している。

節名の異同

599「あらかきのもりにうちあかるたゝみかふし」。1417「あらかきもりにうちあかるたゝみかふし」。1417「あらかきの」の「の」誤脱か。

600「うらおせいおもろのふし」、1418「うらそいのおやのろかふし」。

601「うらおせいおもろのふし」。1419「うらそいのおやのろかふし」。

602「うちいてはおとゝきみまさりのふし」、1464「おとゝきみまさりかふし」。

603「うちいてはなこのこてろかふし」、1423「うちいちへはなこのこてろわかふし」。

604「うちいてはおもいなよくらかふし」、1424「おもろなよくらかふし」。

606「こいしのかさしふとのはらかふし」、1426「うちいちへはこゑしのかさしふとのはらかふし」。

607「御みしやくぬぎあけかふし」。1427「かさすわかてたの御みしやくのきやけかふし」。

608「てわんおきもしなわかふし」、1428「うちいちへはなこのこてろわかふし」。

両オモロ節名同。

判 定

☆

○

○

○

◎

△

○

☆

△

○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 11-610 21-1486 610の1行目「くにおそい」、1486「國おそい」。6・7行目「やりよわ」、1486「やりよは」。7行目「つかい」、1486「つかひ」。
- 611 21-1467 611の1・4行目「こいしの」、1467「こゑしの」。5行目「中くすく」、1467「なかくすく」。
- 612 21-1465 612の1・4行目「こいしの」、1465「こゑしの」。5行目「おとしようかわ」、1465「おとしよかわ」。
- 613 21-1466 613の1・4行目「こいしの」、1466「こゑしの」。5行目「あんしおそい」、1466「あちおそい」。
- 616 21-1438 616の1行目「よたましきや」、1442「よたましか」。2行目「もゝあち」、1438「もゝあんし」。同2行目「まさり世わ」、1438「まさりよわ」。3行目「すゑ」、1438「すへ」。
21-1442 4行目「そろいわちへ」、1438・1442「そろへわちへ」。6行目「きこへ」、1438「きこゑ」。7行目「あちおそい」、1438・1442「あんしおそい」。
- 618 21-1430 618の2・6・8行目の「かねまる」、1430「かね丸」。3行目「お世わ」、1430「およは」。
- 619 21-1431 異同なし。
- 620 21-1436 620の1行目「きこへ」、1436「きこゑ」。1・4行目「きみきや」、1436「きみか」。
- 621 21-1437 621の3行目「世のきみ」、1437「せのきみ」。
- 622 21-1495 622の1・3行目「せのきみきや」、1495「せのきみか」。4行目「しより」、1495「首里」。
- 623 21-1481 623の6行目「いたきよら」、1481「いちやきよら」。
- 624 12-713 624の1行目「きこへせのきみきや」、713「きこゑせんきみか」、1482「きこゑせのきみか」。
21-1482 3行目「すへ」、1482「すゑ」。4行目「そろゑて」、713「そろへて」。同じく4行目「ちよわれ」、713「ちようわれ」。5行目「せのきみきや」、713「せんきみきや」、1482「せのきみか」。8行目「てにゝ うへつくきやめ」、713「天に おゑつくきやめ」、1482「てにに おゑつくきやめ」。10行目「てにゝ」、1482「てにに」。同じく10行目「うへつくきやめ」、1482「おいつくきやめ」。
- 625 21-1483 625の2行目「みもん」、1483「み物」。3行目「世なおしか」、1483「世なおしか」。

詞句・詞章・その他の異同

610の2・5行目「よわれは」, 1486「よわは」。4行目「中もりに」, 1486「中もり」と助詞「に」を欠く。1486は第4節（最終節）の下に混入オモロが接続している。

611の2行目「おきもたかもり」, 1467「きもたかもり」。611は第2～第4節（最終節）は反復句の全部を記載上省略。1467は第2～第3節は「きもたかもりや／くにまさりしよわちへ」の一部「きもたかもりや」のみを記載する部分記載。1467の第4節の対句部「又 とよむ中くすく」の後に混入オモロが接続。

612は第2～第4節（最終節）の反復句の全部を記載上省略。1465は反復句「世の いきつきの／世のてもち みおやせ」の一部「世の いきつきの」のみを記載する部分記載。

異同なし。

3オモロとも第2節以下第4節（最終節）まで、反復句の全部を記載上省略する省略記載。詞句に異同なし。1438の第4節の下には混入オモロが接続。

618の3行目「のちかすゑ」, 1430「のちすゑの」。

異同なし。

異同なし。

621の1行目「せのきみや」, 1437「せのきみか」。

第4節まで詞句に異同なし。1495は第4節（最終節）の「又 またまもりくすく」の下に混入オモロが接続している。（622も全4節のオモロ）。

詞句に異同なし。623の5行目行頭の「又」, 1481に欠く。624の10行目「てに」, 713「あめに」。同じく10行目「うへつきやめ」, 713「もいつくきやめ」。713は第2節に対句部の後半の詞句「おれて ふれまへは」の記載を省略。624・1482は記載する。

節名の異同

610「せのきみかつゝとりかわちへかふし」, 1486「うちいちへはきこゑせのきみかつゝとりかわちへかふし」。

両オモロ節名同。

両オモロ節名同。

両オモロ節名同。

616・1442の節名同。1438は節名なし。

618「たんなふし」, 1430「おもろねあかりしまうつなかふし」。

両オモロ節名同。

620「あおりやへかふし」, 1436節名なし。

621「くめのよゝせきみいけへしくかふし」, 1437「おにのきみはゑやなさいきよにシなてかふし」。

622「きこゑせのきみわかきみけらへてつかいふし」, 1495「きこへせのきみきやわかきみけらへてつかいかふし」。

両オモロ節名同。

624・1482「あおりやへかふし」, 713「あふりやへかふし」。

625「おもとたけつかさくかふし」,

判 定

○

○

○

☆

1442☆
1438○

○

◎

☆

○

○

☆
713△
1482○

○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 11-626 21-1487 626の2行目「うちあかる」、1487「うちやかる」。
- 627 21-1488 627の2行目「よなれかみ」、1488「世なれかみ」。5行目「よつき」、1488「世つき」。
- 628 21-1457 628の3行目「あんしおそい」、1457「あちおそい」。11行目「きみはへ」、1457「きみはゑ」。
- 629 21-1435 629の5行目「くに」、1435「國」。
- 630 21-1490 630の1行目「きこへ」、1490「きこゑ」。7・8行目（第3・4節）「中くすく」、1490「なかくすく」。9行目「かみきやたけ」、1490「かみかたけ」。
- 631 12-710 631の1行目「せのきみ」、710・1491・1510「せんきみ」、6行目「せのきみす」、710
21-1491 「せんきみしゆ」、1491「せんきみす」、1510「せんきみしよ」。8行目「あんしおそ
22-1510 い」、1491「あちおそい」。9行目「せのきみ」、1491「せんきみ」。
- 632 12-711 632の1行目「せんきみ」、1470「せのきみ」。2行目「世かほう」、1470「よかふう」。
21-1470 4行目「おるわし」、711・1492「うるわし」。5行目「ぬきやり」、1470「のきやり」。

詞句・詞章・その他の異同

1483の形がよい。この形とすると625の5・7・9・11行の行頭の「又」は誤入か。1483は全2節のオモロで、625の6行以下18行目（最終節）までの全詞句を欠く。1483は第2節の「かねのしま おわちへ」の後に混入オモロが接続している。

異同なし。

627の3行目「けわいつ」、1488「けわいつ ゑけ」と感動詞「ゑけ」あり。5行目「よつきかみ」、1488「世つき」のみで、「かみ」なし。誤脱、あるいは記載の省略か。627の第3以下第8節（最終節）までの全詞句を1488は欠く。

1488は第2節の後に混入オモロが接続している。

628の第5節の対句部後半「てらちんの せち おろちへ」以下、第9節（最終節）までの全詞句を1457は欠く。1457は第5節の対句部の前半「あまみや きみはゑ」の後に混入オモロが接続している。

629の第4節「かなふくの もり」、1435「かなふくの もりに」と助詞「に」あり。629は対句部の詞句を全て記載（但し、第4節（最終節）は対句部後半の詞句「くに なおちへ おれわちへ」の冒頭「くに」のみの記載。）しているが、1435は対句部後半の詞句「かなふくに おれわちへ」の記載を省略。

630の第2・5節は反復句「たけ みつき／しまの つち ちよわれ」の「つち ちよわれ」の記載を欠く。また、第3・4節は「みつき」以下の反復句全部の記載を欠く。1490は「しまの」以下の反復句の記載を欠く。第6節～第8節（最終節）は、630は反復句の全詞句を記載省略。1490は第2節以下第8節（最終節）まで「しまのつち」以下の反復句の記載を省略する部分記載。630は部分記載と省略記載が混在。記載法的には1490の形が整っているといえる。

631は第3節に対句部後半の詞句「せのきみす しりよわめ」の記載を欠くが、1491にはあり。9行目「やりよわは」、1491「やりよわ」と助詞「は」なし。710と1510は2節のオモロ。但し710は第2節の後に混入オモロが接続。

1491は第2節の対句部前半部「あかなさいきよ なけくな」と後半部「せんきみす しりよわめ」の間に混入オモロが挟まっている。631・1491ともに全4節のオモロ。

632の1行目「きみよしか」、1470「きみよし」と、助詞「か」なし。3行目「てたなさいきよ」、1470「てた」で、

節名の異同

1483「～つかさこ～」。

626「うちあかるひやしのふし」、
1487「あらかきのもりにうちあかる
ちやしかふし」。

627「しのくりやわよなれかみのふ
し」、1488「しのくりやはよなれか
みかふし」。

両オモロ節名同。

両オモロ節名同。

両オモロ節名同。

631「うらおそいふし」、710・1510
「うらおそいおもろのふし」、1491
「うらそいおもろかふし」。

632・1470「のちあかりかふし」、
711「うらおそいおもろのふし」、

判 定

☆

○

○

○

○

○

711△

1470○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

21-1492 「めきやり」。7行目「うちよわやり」、1470「うちへよわやり」。

11-633 21-1471 633の1行目「しましり」、1471「しまちり」。3行目「たまよ」、1493「たま世」、同じく3行目「そろゑて」、1493「そろへて」。4行目「きこゑ」、1493「きこへ」。同じく4行目「あんしおそいきや」、1471「あちおそいか」。

634 21-1472 異同なし。

635 21-1498 異同なし。
22-1553

636 21-1496 636の3行目「こかねすゑ」、1496「金すゑ」。4行目「あんしおそい」、1496「あちそい」。「あちおそい」の「お」の誤説か。

637 21-1497 637の6行目「このち」、1497「このへ」。11行目「かいか」、1497「かいきや」。

638 21-1448 638の3行目「けらへて」、1448「けらゑて」。5行目「きこへあんしおそいか」、1448「きこゑあちおそいきや」。6行目「あちおそいか」、1448「あちおそいきや」。

639 21-1449 639の2行目「あんしおそい」、1449「あちおそい」。7行目「みやつちへ」、1449「みやつち」。

詞句・詞章・その他の異同

「なさいきよ」を欠く。記載の省略とみられる。632の6行目（第5節）「又 おてつから みてつから」, 711「又 みてつから おてつから」。7行目（第6節）「うちへよわやり」, 711「はきよわやり」。1470は6行目行頭の「又」が「一」となり, 7行目行頭の「又」の記載を欠く。いずれも全6節のオモロ。

1471の3行目「つしやこ まかね」は誤入であろう。633の4行目「あんしおそいきや」, 1493「あんしおそいや」。5行目「あちおそいか」, 1493「あんしおそいや」と, 助詞が格助詞・係助詞と異なっている。633・1493の第2・3節（最終節）は反復句の省略記載。1471は反復句の前半「つしやこの まかね」のみを記載する部分記載。

1472は第2節の対句部「又 しねりやそよめきや」の後に混入オモロが接続している。それ以外は全同。

635の3行目「又 こいしのか むつき」で, 1498「又 こいしのか むつきとのはらよ」にある「とのはらよ」を欠く。記載の省略とみられる。1553はこの行の全詞句を欠く。5行目「おゑてからは」, 1498・1553「おゑてから」と助詞「は」を欠く。635は第2節以下第6節（最終節）まで反復句の省略記載。1498・1553は反復句を全部記載する。1498は第2節の後に混入オモロが接続。

異同なし。

637の11・13行目「のほて」, 1497「のほてか」と助詞「か」あり。15行目「かいか」で, 1497「かいか のほて」にある「のほて」を欠く。記載の省略とみられる。17行目「かいか」, 1497に欠く。637は第4節から第7節（最終節）まで反復句の記載を省略。1497は第4・5・6節には記載あり。第7節は対句部「又 ふくしや てうつしや」の後に混入オモロが接続しており, 反復句の記載については本来の姿は不明。637は第6・7節に対句部に記載の省略もみられ, 1497の方が, 記載法の面からみると形は整っている。

638は第2節以下第4節（最終節）まで反復句の記載を省略。1448は反復句「おこのみの たかさ／くしかわ わくさうす けらゑて」の「わくさうす けらゑて」の記載を省略する部分記載。

639の1・5行目の「とよたしゆよ」, 1449「とよたし」で, 「しゆ」「し」の異同がある。7行目「みやつちへ」で, 1449「みやつちに」にある助詞「に」を欠く。639は第2

節名の異同

1492「うちいちへはのちあかりかふし」。

3オモロとも節名同。

634「うちいてはくめの太おそいかふし」, 1472「うちいちへはくめの太おそいかふし」。

635「たまくすくもりくすくのふし」, 1498「たまくすくもりくすくかふし」, 1553節名なし。

※1553は第2節を欠くゆえ△

両オモロ節名同。

637「みるやにかふし」, 1497「みるやにやかふし」。

638「もゝとふみあかりかふし」, 1448「うちいちへはもゝとふみあかりかふし」。

639「なかふし」。1449「ゑんことよたしよあちおそいてたとわかてたかふし」。

判 定

1492○
1470と1492の関係も○

1471○
1493○

○

1498○
1553△

☆

○

○

○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 11-640 21-1450 640の2行目「世かる」、1450「よかる」。3行目「あんしおそい」、1450「あちおそい」。4行目「きこへ」、1450「きこゑ」。6・7行目「あんし」、1450「あち」。8行目「みちへと」、1450「みちゑと」。
- 641 21-1451 641の2行目「まちよめ」、1451「まちよら」。3行目「きみはゑ」、1451「きみはい」。
- 648 11-649 648の1行目「こいしの」、1434「こゑしの」。
21-1434
- 651 21-1445 651の5行目「いたきよら」、1445「いちやきよら」。
- 12-663 22-1554 663の2行目「おもひ」、1554「おもい」。
- 668 15-1053 異同なし。
- 669 15-1054 669の4行目「あめくしか」、1054「あめくしきや」。
- 670 15-1055 670の1行目「まひやりよもひ」、1055「まひやりよもい」。3行目「いちき」、1055「いちへき」。
- 671 15-1069 671の1行目「いくさもひ」、1069「いくさもい」。4行目「いちき いくさめい」、1069「いちへき いくさもい」。6行目「ふゆ」、1069「ふよ」。
- 672 15-1085 672の4行目「そへつき」、1085「そいつき」。
22-1511
- 673 15-1086 673の1行目「けよのうち」、1086「けおのうち」。2行目「もちろちへ」、1086「もちろちへ」。3行目「もちろ内」、1086「もちろうち」。
- 674 15-1089 674の2行目「あんしおそい」、1089「あちおそい」。4行目「玉のきみ」、1089「たまの

節以下第4節（8行目の行頭にも「又」あるべき。そうであれば、本来このオモロは全5節のオモロとなる。）まで、反復句の記載を省略。1449は反復句「あちおそいてたの／このみよわる かまへ つむ／せんよせ けらへ」の「かまへ つむ／せんよせ けら へ」の記載を省略する部分記載。

640の1・2行目の「とよたしゆよ」, 1450「とよたし」で、「しゆ」「し」の異同がある。

641の第3節以下第7節（最終節）までの全詞句を1451は欠く。1451は全2節のオモロ。その他異同なし。

648の2行目「しまつれ くにつれ み物」, 649・1434「もりくすくおれほしや」。1行目と2行目の行間に「くまからうらおそいふし」とある。649・1434にはなし。3行目「まちらすかくに」, 649「まちらすのくに」。9行目「さうさしや」, 649「さうさしやり」。649の第2・3節対句部の一部「いけへし」の記載を欠く。648・649の第7・8節（最終節）の全詞句を1434は欠く。1434は第6節の後に混入オモロが接続。

651は全7節のオモロ。1445は第8節「又 てかち ゑらて のせて」の詞句が続いている。また、1445は第8節の後に混入オモロが接続している。

663の3行目「み物あすひ」, 1554に欠く。誤脱か。5・6行目（第2・3節）の全詞句を1554は欠く。1554は1節のみのオモロ。1554に「御冠船之御時おもろ」の詞書あり。

1554, 尚本になし。仲本による。

異同なし。

異同なし。

異同なし。

異同なし。

672と1085の間には全てに異同なし。672の4行目（第3節）の全詞句を1511は欠く。1511は全2節のオモロ。

異同なし。

異同なし。

640「なかふし」。1450「ゑんことよたしよおもいきみけらへきみかふし」。

641「もゝうらのとゝかみかふし」, 1451「おにのきみはへやもゝうらのとよみかふし」。

648「かねくすくのろのふし」, 649「うちいてはうねくすくのろのふし」, 1434「うちいちへはかねくすくのろのふし」。

651節名なし。1445「くめのこいしのかとりかるとりかふし」。

663「たくしたらなつけかふし」, 1554「しよりゑとふし」。

両オモロ節名同。

669「あふりやへかふし」, 1054「あおりやへかふし」。

670「きみかなしかふし」, 1055「きみかなしふし」。

両オモロ節名同。

672「よきけらへかふし」, 1085「しませんがあけしのゝろのふし」, 1511「くにおそいきみのふし」。

673「よきけらへかふし」, 1086「しませんがあけしのゝろのふし」。

674「あふりやへかふし」, 1089「あ

○

○

649△

1434△

649=1434◎

○

△

◎

☆

☆

☆

1085☆

1511○

☆

☆

巻・番号	重複オモロ	表記の異同
		きみ」。
12-677	15-1104	677の3行目「みものきみ」、1104「みもんきみ」。9行目「八そくち」、1104「やそくち」。
695	22-1517 22-1530	695の3行目「おれなちへ」、1517・1530「おれなおちへ」。695は「お」誤脱か。
714	17-1176	714の3行目「もゝとよ」、1176「もゝとよう」。同じく3行目「ちやうわれ」、1176「ちよわれ」。
715	17-1201	715の1行目「中ひやにや」、1201「なかひやにや」。同じく1行目「おわろ」、1201「おわる」。
716	17-1203	716の5行目「なかひや」、1203「なりひや」。
717	17-1206	717の3行目「わらいきよ」、1206「わらひきよ」。
719	20-1350	719の1行目「せやろ」、1350「せやる」。4行目「ちやうわれ」、1350「ちよわれ」。5行目「ある」、1350「有」。6・7行目「けよ」、1350「けお」。7行目「きやかる」。1350「きやへろ」。8行目「なおり世」、1350「なおりよ」。9行目「あまへ世」、1350「あまへよ」。
722	22-1509	722の2行目「けおの内」、1509「けおのうち」。
723	22-1518	723の6行目「もちろ内」、1509「もちろうち」。
732	22-1523	732の1行目「きこゑ大きみきや」、1523「きこゑ大きみか」。2・6行目「おろちへ」、1523「おるちへ」。3行目「あちおそい」、1523「あんしおそい」。4行目「かゑら」、1523「かくら」。
736	22-1519	異同なし。
13-746	22-1550	746の2行目「いちへらかす」、1550「いちらかす」。「へ」誤脱か。
747	22-1535	747の2行目「つかさく」、1535「つかさこ」。4行目「はりいてたる」、535「はりいちへたる」。
755	22-1547	異同なし。
756	22-1548	756の2行目「なかへきよら」、1548「なかゑきよら」。
760	22-1549	異同なし。

詞句・詞章・その他の異同	節名の異同	判 定
異同なし。	おりやへかふし。 677「たいらのとのゝふし」, 1104 「たいらのとのかふし」。	☆
695の第3節以下第9節（最終節）までの全詞句を1517・1530は欠く。695に「嘉靖廿四年己巳のとしきみてつりのもゝかほうこと云々」の詞書あり。1517に「稲の大祭之時おもろ」, 1530に「与那原村稲福親雲宿に而御規式の御時」の詞書あり。	695「かくらとよてかふし」, 1517・1530「かくらふし」。	○ 1517=1530◎
異同なし。	両オモロ節名なし。	☆
715の第2節は反復句の全部を省略する省略記載。1201は「あれにしや／いみやと おれて なよる」の冒頭「あれ」の二字のみを記すが、部分記載とみなす。いずれも全2節のオモロ。	715節名なし。1201「うちいてはしよりちよわちへからかふし」。	○
716の4行目「うちかる」, 1203「うちあかる」。716は「あかる」の「あ」が誤脱か。	両オモロ節名同。	☆
異同なし。	両オモロ節名なし。	☆
719の1行目「くにおそい」, 1350「くにおそいきや」と助詞「きや」あり。5行目「け」, 1350「けう」。同じく5行目「くにおそいよ」, 1350「くにおそいきや」。9行目「したけて」, 1350「きたけて」。	719「うらそいふし」, 1350「うらおそいふし」。	○
722の第3節以下第7節（最終節）までの全詞句を1509は欠く。その他異同なし。	両オモロ節名同。	○
723の第3節以下第7節（最終節）までの全詞句を1518は欠く。その他異同なし。	723「おしかけかふし」, 1518「おしかけふし」。	○
732の第3節以下第7節（最終節）までの全詞句を1523は欠く。その他異同なし。	732節名なし。1523「てかねまるふし」。	○
736の第3節以下第7節（最終節）までの全詞句を1519は欠く。その他異同なし。	736節名なし。1519「おしかけふし」。	○
異同なし。	746節名なし。1550「あかすめつらしやかふし」。	☆
747の2行目「つかさくと」, 1535「つかさこ」と係助詞「と」を欠く。	両オモロ節名なし。	○
755の2行目「けらへてゝ」, 1547「けらへて」。755の「ゝ」は誤入か。	両オモロ節名同。	☆
異同なし。	両オモロ節名同。	☆
異同なし。	760「しよりゑとのふし」, 1549「同ふし」(1548「しよりゑとのふし」)。 よって760・1549両オモロ節名同。	◎

巻・番号	重複オモロ	表記の異同
13-819	22-1537	異同なし。
820	22-1543	820の2行目「かこへ」、1543「かこゑ」。
830	22-1542	異同なし。
832	22-1536	異同なし。
14-1032	16-1170	1032の2行目「あまとくちやら」、1170「あめとくちやら」。3行目「ちやらつゝ」、1170「ちやらつ」。踊り字部分誤脱か。
1033	16-1167	異同なし。
1035	16-1172	1035の2行目「いちゑみ」、1172「いちへみ」。
1036	16-1169	異同なし。
1040	15-1125 15-1126	1040の1行目「やしのし」、1125「やせのし」。2行目「ゑのちふつくる」、1125「ゑのちふつくろ」。(1040と1126は非「重複」につき校合せず)。
1047	17-1197	1047の2行目「とかては」、1197「とかてゑは」。3行目「はさめ」、1197「はさ」で、活用語尾の「め」誤脱か。
17-1219	18-1249	1219の2行目「よかる」、1249「ゆかる」。4行目「いなふく」、1249「ゑなふく」。

詞句・詞章・その他の異同

異同なし。

異同なし。

異同なし。

異同なし。

1032の2行目「おせや」、1170「おそいや」。1032の第3節（最終節）の全詞句を1170は欠く。1170は全2節のオモロ。1033の2行目「おわちへ」、1167「のほて」。1033は断片オモロとみられる。

1035の2行目「まみき」、1172「御さけ」。3行目「おえず大かわや」、1172「おゑすきゝやれくに」。同じく4行目「御さけ」（岩波本では3行目となっているが改行して4行目とする。1172ではそうになっている）、1172「まみき」。1035の第2節（最終節）は「御さけは」で終わり、以下「いちゑみと しよる」は記載上省略されている。1072には記載あり。1072の形が良い。

1036の1行目「おきんしらとんの むすめ」、1169「おきんの しらとん／しらとんの むすめ」。2行目「ゑけはひよう こはひ」、1169「あおうはひ やうかふはひ」。3行目「かまらたむ」、1169「かはらたむ」。1169の第2節は反復句の記載を省略。1036は記載あり。1036は1169の第3節（最終節）の全詞句を欠く2節のオモロ。

1040の3行目「てるまもん てりよら」（反復句）、1125「みちへおて いき せらに」。4・5行目（第2節）「きなわ 大みやに／きなわちやうくちに」、1125「けおの 世かる ひに／けおの きやかるひに」。1040と1126の間には重複・類歌関係も認められない。また、1125と1126の間にも重複・類歌関係も認められない。

1047の1行目「くはのしきや」、1197「まかねこか」。4行目「世かけひやし」、1197「よもちひやし」。5行目「くはのしか せるむ」、1197「きこゑみやきせんに」。1047の第2節は反復句の記載を省略するが、1197は「とかてゑはとらさ」のみを記す部分記載。

1219の7行目「かなよろいや」、1249「かなよろい」と助詞「や」を欠く。同じく7行目、1219は「かなよろいや」でおわり、対句部の詞句「こいや」を欠くが、1249には有り。8・9行目「あか おとちや」、1249「あか おとちやの」と助詞「の」有り。

節名の異同

819「しまうちあほりやへかふし」。

1537「しまうちあふりやへかふし」。

両オモロ節名同。

830「うちいてはふいのとりのふし」、1542「うちいてはふゑのとりのふし」。

両オモロ節名同。

1032は節名なし。1170「こゑしのかふし」。

1033は節名なし。1167「こへしのかふし」。

1035は節名なし。1172「こゑしのかふし」。

1036は節名なし。1169「こゑしのかふし」。

1040は節名なし。1125「大にしのた

らつかふし」。

1047は節名なし。1197「あおりやへ

ふし」。

1219「ねうしの時かふし」。1249「さんことよたしかふし」。

判 定

◎

☆

◎

◎

○

△

△

△

1125×

1126×

1125と

1126も×

×

○

巻・番号	重複オモロ	表記の異同
17-1220	18-1250	1220の1行目「さんことよたし」、1250「さんことゆたし」。2行目「よかる」、1250「ゆかる」。6行目「いなふく」、1250「ゑなふく」。
1221	18-1251	1221の2行目「けらゑて」、1251「けらんて」。
1222	18-1252	1222の2行目「もの」、1252「物」。3行目「のきあけみつ」、1252「ぬぎやけみつ」。
1223	18-1253	1223の2行目「よかけ」、1253「世かけ」。3行目「みもの」、1253「み物」。
1224	18-1254	1224の3行目「みやあくむ」、1254「みあくも」。
1225	18-1255	1225の1行目「きこゑ」、1255「きこへ」。
1226	18-1256	1226の3行目「あち」、1256「あんし」。
1227	18-1257	1257の1行目「うらはへ」、1257「うらはゑ」。
1228	18-1258	1228の5行目「かひやるは」、1258「かひやるは」。
1229	18-1259	1229の3行目「よせもりかなし」、1259「よせもいかなし」。
1230	18-1260	1230の3行目「そるて」、1260「そろて」。4行目「ともゝすへ」、1260「ともゝすゑ」。
1231	18-1261	異同なし。
1232	18-1262	1232の5行目「よかるひ」、1262「世かるひ」。3行目「ふうまわり」、1262「ふまわり」。

詞句・詞章・その他の異同	節名の異同	判 定
1220の3行目「まふるてた」、1250「まさるてた」。5行目「こひつこや」、1250「こひつめや」。	両オモロ節名同。	△
1221の1・4行目「よさり」、1251「世まさり」。1221は「ま」の誤脱とみられる。	1221「あさとおきておやみかまかふし」、1251「あさとおきておやみかまのふし」。	○
1222の1行目「みつの」、1252「みつは」。2行目「こす」、1252「よこす」。1222は「よこす」の「よ」の誤脱か。1222は第2節は「おやかかわのみつは」のみが記載され第1節の2行目以下の全詞句「(よ) こすものやてや／のきあけみつ／かいなてみつ せまし」が記載上省略されている。1252は「よこす」までが記され、以下「やてや～せまし」が記載省略されている。	1222「うらそいふし」、1252「うらおそいおもろのふし」。	○
1223の4行目「くにね」、1253「くにのねに」と、助詞「の」「に」がある。5行目「いとかす」、1253「いとかすの」と助詞「の」有り。	1223「きこへきみかなしおそてよろいわたゝかふし」、1253「きこへきみかなしおそてそろへわちへかふし」。	○
異同なし。	1224「あおりやへふし」。1254「あおりやへかふし」。	☆
1225の3行目「もちよせれ」、1255「もちよせて」。	1225「あおりやへふし」。1255「あおりやへかふし」。	○
1226の1行目「おもこ」、1256「おたこ」。4行目「あしかかない」、1256「あらかない」。1226は2節のオモロで、1256の第3節(最終節)の「ひやくなはつかない／あさとしなて かなて」の全詞句を欠く。	両オモロ節名同。	△
1227の1行目「ひやくな」、1257「ひやくなわ」と助詞「わ」有り。2行目「あんしおそい まふら」、1257「なさまふりよわちへ」。	1227「いつかなつたゝしゆかふし」、1257「いつかなつたゝしよかふし」。	△
1228の4行目「こはのはな」、1258「こははな」。4行目「さききよら」、1258「さきよら」。5行目「きよら」、1258「さきよら」。1228は「さ」の誤脱とみられる。	1228は節名なし。1258「うらしろたちよいふし」。	○
1229は第2・3節ともに反復句の全部を記載省略。1259は第2節は反復句の全部を記載省略するが、第3節は反復句の前半「みやりほしや」のみを記載する部分記載。	両オモロ節名同。	○
1230の4行目「みやおやせ」、1260「みおやせ」。1230の「みや」の「や」は誤入か。	両オモロ節名同。	○
1231の2行目「つれる つれ」、1261「つれる つれ つれて」。1231は「つれて」の誤脱か。	両オモロ節名同。	○
1232の2行目「ぬしてたよ」、1262「ぬしてた」で、助詞「よ」なし。3行目「もゝしまの」、1262「ともゝとの」。4行目「くにね」、1262「くにのねに」と、助詞「の」		△

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 17-1233 18-1263 異同なし。
- 1234 18-1264 1234の1・3行目「もらね」、1264・1541「むらね」。1264と1541は全て異同なし。
22-1541
- 1235 18-1265 異同なし。
- 1236 18-1266 1236の4行目「みちへりきよ」、1266「みちゑりきよ」。5行目「もつき」、1266「むつき」。
- 1237 18-1267 1237の1・5行目「おきやかしか」、1267「おきやかしきや」。2行目「おほいて」、1267「おほゑて」。3行目「たまかはら」、1267「玉かはら」。
- 1238 18-1268 1238の1行目「くもこもり」、1268「くむこもり」。
- 1239 18-1269 1239の1行目「くもこもりくすく」、1269「くむこもりくすく」。3行目「よまさる」、1269「世まさる」。
- 1240 18-1270 1240の1行目「きこゑ」、1270「きこへ」。2行目「くもこもり」、1268「くむこもり」。
- 1241 18-1271 異同なし。
- 1242 18-1272 1242の1行目「きこゑ」、1272「きこへ」。同じく1行目「てにきや」、1272「天きや」。
- 1243 18-1273 1243の4行目「おきやかしか」、1273「おきやかしきや」。
- 1244 18-1274 異同なし。

詞句・詞章・その他の異同	節名の異同	判 定
「に」が有る。 1233の2行目「みやこ」、1263「いみやこ」。3行目「もゝと」、1263「もゝと世」。4行目「たゝみきよ」、1263「たゝみきよに」と助詞「に」有り。4行目「おきくむ」、1263「おきよくむ」。 異同なし。1264と1541は全て異同なし。	1233「こいしのかさしふとのはらかふし」、1263「こいしのかさしふとのはらのふし」。 1234「しまのうらかふし」、1264・1541「かつれんはいきやるかつれんかふし」。 1235「たくしたらなつけのふし」、1265「たくしたらなつけかふし」。	△ ○ 1264=1541◎ ○
1235の3行目「この」、1265「此世」。1235は「よ」を誤脱か。4行目「くにねに」、1265「くにのねに」。5行目「きよらてたよ」、1265「きよらてた」と助詞「よ」を欠く。 1236の1行目「くむこたまくすく」、1266「くむこもり」。5行目「かみにしや」、1266「かみにしやか」と助詞「か」有り。1236は1266の第3節の対句部の詞句「あかへとりせゝと／まむかとり せゝと」を欠く。1236は全2節のオモロ。 異同なし。	1235「たくしたらなつけのふし」、1265「たくしたらなつけかふし」。 両オモロ節名同。	○ △
1238は第2節の対句部「又 ひやくなうちに ゑらて おちやる ま人」の冒頭部「又 ひやくなうちに ゑらて」と、第3節の対句部「又 さきよたうちに そゝて おちやる ま人」の全詞句を欠く。 1239は1269の第3節の対句部の詞句「きこへあかなさいきよ」を欠く。1239は全2節のオモロ。 1240の1行目「おわもり」、1270「わもり」と「お」を欠く。誤脱か。4行目「もちよる」、1270「もちろきゆる」。1240は「もちろきよる」の「ろき」の2字が誤脱か。 1240は1270の第3節の対句部の詞句「あやの てたは さたけて」を欠く。1239は全2節のオモロ。 1241の1・4行目「あやてに」、1271「あやのてに」。	1237「あおりやへふし」、1267「あおりやへかふし」。 1238「こいしのふし」、1268「こいしのかふし」。 1239「あおりやへふし」、1269「あおりやへかふし」。 1240「あおりやへふし」、1270節名なし。 1241「あおりやへふし」、1271「あおりやへかふし」。	☆ △ ○ ○
1242の2行目「すへくもこもり」、1272「くむこもり」。5行目「あやてにきや」、1272「あやの天か」。1242は1272の第3節の対句部の詞句「なさきよもいか み御まへ」を欠く。1242は全2節のオモロ。 1243の3行目「ちよわれ」、1273「ちよわちへ」。1243は1273の第3節の対句部の詞句「きこゑたまくすく」を欠く。1243は全2節のオモロ。 1244の3行目「すへところち」、1274「せくたち」。4行目「たちよる」、1274「たちよわる」。1244は「たちよわる」	1242「あおりやへふし」、1272「あおりやへかふし」。 1243「あおりやへふし」、1273「あおりやへかふし」。 両オモロとも節名なし。	○ △ ○ △

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 17-1245 18-1275 1245の4行目「あよも」、1275「あよむ」。
- 1246 18-1276 1246の2行目「あちおそい」、1276「あんしおそい」。4行目「けよの よかるひ」、1276「けおの 世かるひ」。5行目「きやへる」、1276「きやかる」。
- 1247 18-1277 1247の2行目「あちおそい」、1277「あんしおそい」。3行目「よそわる」、1277「世そわる」。4行目「うちちゑ」、1227「うちちへ」。5行目「よかるひ」、1277「世かるひ」。6行目「きやへる」、1276「きやかる」。7・8行目「もたちゑ」、1277「もたちへ」。
- 1248 18-1278 1248の1行目「ちねん」、1278「ちゑねん」。
- 19-1295 22-1532 異同なし。
- 1315 22-1540 1315の2行目「とよみよる」、1540「とよみよろ」。
- 1317 22-1538 異同なし。
- 1318 20-1381 1318の2行目「もちろかちん」、1381「もちろかちゑ」。3行目「けおのうちる」、1381「けおのうちろ」。
- 1319 20-1382 1319の2行目「金うちる」、1382「金うちろ」。
- 1320 20-1383 異同なし。
- 1321 20-1384 異同なし。
- 1322 20-1385 1322の3行目「けおのうちる」、1385「けおのうちろ」。
- 1323 20-1386 異同なし。

詞句・詞章・その他の異同

の「わ」字が誤脱か。1244は1274の第2節の対句部の詞句「たけこらか／かみにしやか せくたち」を欠く、1節のみのオモロ。

異同なし。

1246の1行目「いとかすてた」、1276「いとかすてたよ」と助詞「よ」有り。2行目「あちおそい」、1276「あんしおそいてたよ」と「てた」と助詞「よ」有り。1246は対句部の詞句の一部を記載上省略したものとみられる。1246は5行目行頭に「又」なし。1276に「又」有り。1246の形が良い。

1247の2行目「あちおそいてた」、1277「あんしおそいてたよ」と助詞「よ」有り。7行目「くらま」、1277「くらまる」。

1248の2行目「やくめさ」、1278「やくめさよ」と助詞「よ」有り。3行目「こましや」、1278「こまらや」。1278は1248の第2節の詞句「さきに おわる わかきよ／わかいきよ やくめさ／ふなこし こまらや」の「わかいきよ～」以下と、第3節の対句部の詞句「さきに うわる わかいきよ」を欠く。1278は全2節のオモロ。

異同なし。

1315の3行目「たきりおしかさ」、1540「たきよりおしかさ」。1315の第3節以下第7節までの全詞句を1540は欠く。1540は全2節のオモロ。

1317の4行目「あらさき」、1538「あらさきの」と助詞「の」あり。1317の第3節（最終節）の全詞句を1538は欠く。1538は全2節のオモロ。

異同なし。

異同なし。

異同なし。

1321の2行目「み」、1384「みつ」。1321は「みつ」の「つ」を誤脱か。

異同なし。

詞句の異同なし。但し、1386は1323の第3・4節（最終節）の全詞句を欠く。1386は全2節のオモロ。

節名の異同

両オモロ節名同。

1246「うちいちへは大きとのてたのふし」、1276「うちいては大きとのてたのふし」。

1247「大きとのてたのふし」。1277「うちいては大きとのてたのふし」。

1248「うちいちへはあかるへのふし」。1278「うちいてはあかる急とのふし」。

1295「うらおそいのおやのろかふし」、1532「うらそいのおやのろかふし」。

1315「うちいてはせちとよみせいくさかふし」、1540「うちいちへはせちとよみせいくさかふし」。

両オモロ節名同。

1318「うらおそいおもろふし」、1381「うらおそいふし」。

1319「うらおそいおもろのふし」、1382節名なし。

1320「うらおそいおもろのふし」、1383「うらおそいふし」。

1321「うらおそいおもろのふし」、1384「うらおそいふし」。

1322「うらおそいおもろのふし」、1385「うらおそいふし」。

1323「うらおそいおもろのふし」、1386「うらおそいふし」。

判 定

☆

○

○

△

◎

○

○

☆

☆

◎

☆

☆

○

巻・番号 重複オモロ 表記の異同

- 19-1324 20-1387 異同なし。
- 1325 20-1338 1325の3行目「あち」、1388「あんし」。5行目「なおちへ」、1388「なおちゑ」。
- 1326 20-1389 異同なし。
- 1327 20-1390 1327の2行目「かてへあち」、1390「かてへあんし」。3行目「世のぬし」、1390「よのぬし」。
- 1328 20-1391 異同なし。
- 1329 20-1392 1329の2行目「おちへ」、1392「おちゑ」。
- 1330 20-1393 1330の3行目「にかよう」、1393「にりよう」。4行目「くにのね」、1393「國のね」。
- 21-1402 21-1469 1402の1・2行目「せのきみ」、1469「せんきみ」。4・5行目「あんしおそい」、1469「あちおそい」。6行目「うの時」、1469「うのとき」。
- 1403 21-1440 1403の2行目「せんきみしゆ」、1440「せのきみしよ」。6行目「あんしおそい」、1440「あちおそい」。8行目「おとく」、1440「おとゝ」。
- 1404 21-1441 1404の3行目「とちへ」、1441「とうちへ」。5行目「まこちかす」、1441「まこちかせ」。6行目「おゑちかす」、1441「おいちゑかせ」。
- 1405 21-1468 1405の3行目「あんしおそい」、1468「あちおそい」。
- 1455 11-559 「重複オモロ」でないので校合せず。
625
21-1483
1499

詞句・詞章・その他の異同	節名の異同	判 定
異同なし。	1324「うらおそいおもろのふし」, 1387「うらおそいふし」。	◎
1325の5行目「うらうし」, 1388「こらうし」。	1325「うらおそいおもろのふし」, 1388「うらおそいふし」。	○
異同なし。	1326「うらおそいおもろのふし」, 1389「うらおそいふし」。	◎
異同なし。	1327「うらおそいおもろのふし」, 1390「うらおそいふし」。	○
異同なし。	1328「なかくすくおもろのふし」, 1391「中城おもろのふし」。	◎
異同なし。	1329「ちやうやうへまのしのふし」, 1392「ちやうやうへまのしかふし」。 しかふし」。	☆
詞句の異同なし。但し、1393は1330の第3節（最終節）の全詞句を欠く。1393は全2節のオモロ。	1330「たつなかふし」, 1393「たつ なふし」。	○
1402の3行目「拾」, 1469「とか」。1402は「か」（日）の誤脱か。	「きこゑあおりやへふし」。1469「う ちいちへきこゑあおりやへかち天の せちおろちへかふし」。	○
詞句の異同なし。1403は第2節以下、反復句の記載を全部省略。1440は反復句「たむきせのきみしよ／もゝといやけわめ」の前半「たむきせのきみしよ」のみを記載する部分記載。	1403「うちいていつかなつたゝしゆ ふし」。1440は節名なし。	○
1404の7行目「あらかき」, 1441「あらさき」。1403は第2節以下、反復句の記載を全部省略。1441は反復句「おもいのおきも／とうちゑ みおやせ」の前半「おもいのおきも」のみを記載する部分記載。1441は1404の第6節（最終節）の全詞句を欠き、第5節の反復句の後に、混入オモロが接続している。	1404「きこゑせのきみかつゝとりか りかわちへふし」, 1441「きこゑせ のきみかつゝとりかわちへかふし」。	△
1405の1・4行目「せのきみや」, 1468「せのきみか」。1405は第2節以下、反復句の記載を全部省略。1468は「かみほとけ／いみやの あちおそい まふら」の前半「かみほとけ いみやの」のみを記載する部分記載。1468は1405の第3・4節（最終節）の全詞句を欠き、第2節の反復句の後に、混入オモロが接続している。	1405「おもろねやかりかふし」, 1468 「おもろねやかりしまたつなかふ し」。	○
左同。	左同。	×

3-95	1-38	38の項で既述	666	5-268	268の項で既述
106	1-23	23の項で既述	667	5-270	270の項で既述
111	1-32	32の項で既述	675	5-225	225の項で既述
115	3-99	99の項で既述	676	5-226	226の項で既述
119	1-1	1~22の項で既述	678	6-339	339の項で既述
~140	~22		710	11-631	631の項で既述
141	1-24	24~28の項で既述	711	11-632	632の項で既述
~145	~28		713	11-624	624の項で既述
146	1-30	30の項で既述	720	4-203	203の項で既述
147	1-29	29の項で既述	734	6-334	334の項で既述
149	3-91	91の項で既述	739	4-210	210の項で既述
4-169	4-152	152の項で既述	740	3-150	150の項で既述
201	4-184	184の項で既述	741	3-151	151の項で既述
207	3-89	89の項で既述	743	4-204	204の項で既述
5-291	4-205	205の項で既述	744	4-209	209の項で既述
292	4-206	206の項で既述	745	4-211	211の項で既述
293	3-89	89の項で既述	810	10-549	549の項で既述
294	4-208	208~211の項で既述	838	10-552	552の項で既述
~297	~211		851	7-379	379の項で既述
6-322	6-317	317の項で既述	863	1-21	21の項で既述
7-365	3-92	92の項で既述	865	10-515	515の項で既述
368	1-22	22の項で既述	866	10-546	546の項で既述
8-434	8-416	416の項で既述	868	10-554	554の項で既述
9-497	3-92	92の項で既述	876	1-33	33の項で既述
502	7-359	359の項で既述	877	1-31	31の項で既述
503	3-84	84の項で既述	881	9-509	509の項で既述
508	3-114	114の項で既述	892	9-510	510の項で既述
10-518	1-31	31の項で既述	957	10-541	541の項で既述
529	1-33	33の項で既述	1053	12-668	668の項で既述
11-561	1-35	35の項で既述	1054	12-669	669の項で既述
595	9-480	480の項で既述	1055	12-670	670の項で既述
605	9-500	500の項で既述	1069	12-671	671の項で既述
617	7-369	369の項で既述	1085	12-672	672の項で既述
642	11-575	575の項で既述	1086	12-673	673の項で既述
	21-1460		1089	12-674	674の項で既述
649	11-648	648の項で既述	1104	12-677	677の項で既述
652	3-116	116の項で既述	1125	14-1040	1040の項で既述
653	3-117	117の項で既述	1126	14-1040	1040の項で既述
654	3-118	118の項で既述	1159	9-498	498の項で既述
655	3-148	148の項で既述	1167	14-1033	1033の項で既述

1169	14-1036	1036の項で既述	1439	7-369	369の項で既述
1170	14-1032	1032の項で既述	1440	21-1403	1403の項で既述
1172	14-1035	1035の項で既述	1441	21-1404	1404の項で既述
1176	12-714	714の項で既述	1442	11-616	616の項で既述
1197	14-1047	1047の項で既述	1443	11-558	558の項で既述
1201	12-715	715の項で既述	1445	11-651	651の項で既述
1203	12-716	716の項で既述	1447	10-547	547の項で既述
1206	12-717	717の項で既述	1448	11-638	638の項で既述
18-1249	17-1219	1219~1248の項で既述	1449	11-639	639の項で既述
~1278	~1248		1450	11-640	640の項で既述
21-1409	11-557	557の項で既述	1451	11-641	641の項で既述
1410	11-558	558の項で既述	1452	11-598	598の項で既述
1411	11-559	559の項で既述	1454	11-577	577の項で既述
1412	11-560	560の項で既述	1456	1-35・	35の項で既述
1413	1-35・	35の項で既述		21-1413	
	21-1456		1457	11-628	628の項で既述
1414	11-562	562の項で既述	1458	11-573	573の項で既述
1415	11-563	563の項で既述	1459	11-574	574の項で既述
1416	11-564	564の項で既述	1460	11-575	575の項で既述
1417	11-599	599の項で既述	1461	11-594	594の項で既述
1418	11-600	600の項で既述	1462	9-480	480の項で既述
1419	11-601	601の項で既述	1463	11-596	596の項で既述
1420	11-569	569の項で既述	1464	11-602	602の項で既述
1421	11-570	570の項で既述	1465	11-612	612の項で既述
1422	11-571	571の項で既述	1466	11-613	613の項で既述
1423	11-603	603の項で既述	1467	11-611	611の項で既述
1424	11-604	604の項で既述	1468	21-1405	1405の項で既述
1425	9-500	500の項で既述	1469	21-1402	1402の項で既述
1426	11-606	606の項で既述	1470	11-632	632の項で既述
1427	11-607	607の項で既述	1471	11-633	633の項で既述
1428	11-608	608の項で既述	1472	11-634	634の項で既述
1429	11-609	609の項で既述	1473	11-586	586の項で既述
1430	11-618	618の項で既述	1474	11-587	587の項で既述
1431	11-619	619の項で既述	1475	11-588	588の項で既述
1432	11-566	566の項で既述	1476	11-589	589の項で既述
1433	11-567	567の項で既述	1477	11-590	590の項で既述
1434	11-629	629の項で既述	1478	11-591	591の項で既述
1436	11-620	620の項で既述	1479	11-592	592の項で既述
1437	11-621	621の項で既述	1480	11-593	593の項で既述
1438	11-616	616の項で既述	1481	11-623	623の項で既述

1482	11-624	624の項で既述	1521	3-112	112の項で既述
1483	11-625	625の項で既述	1522	4-205	205の項で既述
1484	11-565	565の項で既述	1523	12-732	732の項で既述
1485	11-566	566の項で既述	1524	1-40	40の項で既述
1486	11-610	610の項で既述	1525	6-324	324の項で既述
1487	11-626	626の項で既述	1526	6-308	308の項で既述
1488	11-627	627の項で既述	1527	6-335	335の項で既述
1489	11-576	576の項で既述	1528	6-336	336の項で既述
1490	11-630	630の項で既述	1529	10-512	512の項で既述
1491	11-631	631の項で既述	1530	12-695	695の項で既述
1492	11-632	632の項で既述	1531	1-29	29の項で既述
1493	11-633	633の項で既述	1532	18-1295	1295の項で既述
1495	11-622	622の項で既述	1533	1-34	34の項で既述
1496	11-636	636の項で既述	1534	10-514	514の項で既述
1497	11-637	637の項で既述	1535	13-747	747の項で既述
1498	11-635	635の項で既述	1536	13-832	832の項で既述
1499	11-559	559の項で既述	1537	13-819	819の項で既述
1503	11-578	578の項で既述	1538	19-1317	1317の項で既述
1504	11-579	579の項で既述	1539	7-346	346の項で既述
1505	11-580	580の項で既述	1540	19-1315	1315の項で既述
1506	11-581	581の項で既述	1541	17-1234	1234の項で既述
1507	11-582	582の項で既述	1542	13-830	830の項で既述
22-1508	5-242	242の項で既述	1543	13-820	820の項で既述
1509	12-722	722の項で既述	1544	7-349	349の項で既述
1510	11-631	631の項で既述	1545	10-530	530の項で既述
1511	11-672	672の項で既述	1546	7-391	391の項で既述
1512	6-330	330の項で既述	1547	13-755	755の項で既述
1514	4-188	188の項で既述	1548	13-756	756の項で既述
1515	5-237	237の項で既述	1549	13-760	760の項で既述
1517	12-695	695の項で既述	1551	6-316	316の項で既述
1518	12-723	723の項で既述	1553	11-635	635の項で既述
1519	12-736	736の項で既述	1554	12-663	663の項で既述
1520	4-173	173の項で既述			

まとめ——「重複オモロ」の分類——

以上の調査をもとに、これまで「重複オモロ」とされてきたものを、整理しなおすと、次のような分類が考えられる。

1. 完全重複（◎印で表示）

「重複オモロ」間に一字一句の異同のないもの（節名もふくめて）である。次の6組がそうである。

[391-1546。619-1431。668-1053。832-1536。1264-1541。1517-1530。]

オモロ本文には一字一句の異同もないが、節名に表記その他の異同があるものがある。これも完全重複に相当するものとしてここに分類しておく。次の各組がそうである。

[25-142。184-201。308-1526。438-1373。603-1423。649-1434。760-1549。819-1537。830-1542。1295-1532。1320-1383。1324-1387。1326-1389。1328-1391。]

2. 不完全重複（☆印・○印で表示）

従来の「重複オモロ」の大部分を占めるものである。これは大きく2つに分類される。すなわち、1の完全重複に準ずるレベルの重複オモロと、それ以下のレベル（「重複オモロ」間の異同が相当量にのぼる）のものである。これを説明すると次の様になる。

①準完全重複——詞句・詞章・節数・記載法などに異同はなく、表記・節名に異同があるもの。（☆印で表示）

②一般重複——詞句・節数・記載法・表記・節名などに異同はあるが、詞句の異同では、誤脱などが予想されたり、一字の助詞で、その異同が許容されるとひとまず判断されるものである。これが、従来言われてきた「重複オモロ」の大部分を占めるものである。これも今後は、a. 節数の異同、b. 記載法の異同、の2点に基準をおいた下位分類が必要となるかもしれない。（○印で表示）

※オモロ番号の揭示は省略する。

3. 類歌・参考歌（△印で表示）

従来「重複オモロ」とされていたもののうち、詞句・詞章の異同が顕著であり、「重複」と認めるよりも、むしろその相違を積極的に認めて、両者の関係を新たに定義したものである。従って「重複オモロ」とは認めない。

①類歌——詞句・詞章・節数などに異同があり、その詞句・詞章の異同が作品としての意味・機能に重大な影響を及ぼし、互いに別のオモロとなっているもの。しかし、相互に類縁関係があるとみられる。

②参考歌——詞句・詞章・節数などの異同とそのまま影響が「類歌」の範疇を越えたもの。相互に参照される程度の関係のオモロ。このなかには、対句部の一部が何らかの理由で欠損し、「重複」関係が不明確なものも含まれる。

上記の①②に分類されるのは次のものである。

[4-122。13-131。15-133。17-135。20-138。30-146。31・877-518。38-95。89-207・293・1376。92・365-497。100-490。110-388。148-655。205・1374・1522-291。242-1508。317-322。416-434。498-1159。515-865。541-957。604-1424。608-1428。624・1482-713。632・1470・1492-711。635・1498-1553。648-649・1434。1035-1172。1036-1169。1220-1250。1226-1256。1227-1257。1232-1262。1233-1263。1236-1266。1242-1272。1244-1274。1404-1441]

[18-136。33-529・876。529-876。559・1411-1499。567-1433。575・1460-642。663-1554。1033-1167。1238-1268。1248-1278]

4. 上記の1～3のいずれにも分類されないもので、テキストの「重複」の指示を解除すべきもの。次の各組がそうである。

[359-502。517-976。552-838。554-868。557-1409。572-1457。1040-1125・1126。1125-1126。1047-1197。1455-559=1499・625=1483]

《了》